



第29回 The 29th Annual Meeting of the Society of Ambulatory and General Pediatrics of Japan

日本外来小児科学会年次集会

ガイドブック



「子育ての、そばにいる人は誰？」

～支援マインドに支えられた小児プライマリ・ケアの道標～

- 会期 2019年8月31日(土)・9月1日(日)
- 会場 福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル
- 会頭 吉永 陽一郎 (吉永小児科医院 院長)
- 事務局長 長井 健祐 (長井小児科医院 院長)

<http://www.sagpj29.com>

CONTENTS

1. 会頭挨拶	1
2. 年次集会概要	2
3. タイムスケジュール	4
4. 会場アクセス	6
5. 事前参加登録・ランチョンセミナー (LS) 事前登録	7
6. ワークショップ (WS) 事前申込	9
7. 一般演題 [募集]	24
8. パネル展示 [募集]	27
9. 患者家族の会・支援者の会展示 [募集]	28
10. 各種講演	29
11. シンポジウム	36
12. セミナー・SIG	41
小児 AMR 対策セミナー 事前申込	44
13. 倫理講習会	44
14. ハンズオンセミナー 事前申込 ・スポンサードセミナー	45
15. 前夜イベント・懇親会 事前申込	48
16. 閉会式	50
17. 託児室 事前申込	51
18. 宿泊のご案内 事前申込	52
19. 日本外来小児科学会への入会手続き	53

【発表内容の撮影禁止】

学会中、全プログラムを通じて、原則として発表内容の写真撮影を禁止します。ポスター・展示発表で、発表者が撮影許可マークを貼った内容に関してのみ、撮影を許可します。



撮影許可マークは、ポスター・展示会場に準備いたします。
発表される方はご利用ください。

1. 会頭挨拶

第 29 回日本外来小児科学会年次集会 の開催にあたり



第 29 回日本外来小児科学会年次集会
会頭 吉永 陽一郎
(吉永小児科医院)

第 29 回日本外来小児科学会年次集会を、2019 年 8 月 31 日 (土)・9 月 1 日 (日) に、福岡国際会議場、福岡サンパレスホテルで開催いたします。

今回のテーマは「子育ての、そばにいる人は誰? ～支援マインドに支えられた小児プライマリ・ケアの道標～」としました。医療者の間で育児支援の必要性が言われ始めて 20 年以上が経ちます。初期の育児支援は、母親の努力を認めることから始まりました。母子保健に関わる者達が、一方通行で教育し、なんでも頭ごなしに指示すれば良いというものでは無いことに気づいたのです。家族の負担を軽減する努力も進みました。待機児童は我が国の大きな問題になっています。しかし、母親の努力は認めた上で、かといってどんなやり方でも認めていいわけでは無いこと、また、子どもを長時間預かりさえすれば、それだけで育児支援が全うされるわけでは無いことは誰もが感じていました。その時代のエビデンス、地域の文化、家庭用品や育児用品の進化、環境の変化、その家族にとって妥当な選択など、多くの要素を評価し、これからしばらくの私たちの進む方向、家族アドバイスする内容を常に検討していく必要があります。私たちは育児支援という考え方を手に入れた時代の医療者です。家族のそばにいること、一緒に考える事、解決策や解決できる人物に出会うまで一緒にいることが欠かせません。第 29 回は多くのシンポジウムやワークショップ、その他の企画を通じて、支援マインドを忘れずに、正しい方向を伝えていく思いを共有する機会になればと祈念しています。

クリニックの医師のみならず、勤務医の先生方にも、先端医療を垣間見たり、私たちの診療や日常に大きなパッションを与える機会が並ぶように、実行委員全員で検討しました。また、全ての時間帯に、スタッフの方達にとっても楽しめるようなプログラムを考えました。福岡は交通の便の良い場所です。是非日曜の午後まで、たっぷりと充実した時間をお過ごしください。

多くの皆様のご参集を期待しています。



2. 年次集会概要

テ ー マ	「子育ての、そばにいる人は誰？」 ～支援マインドに支えられた小児プライマリ・ケアの道標～
会 期	2019年8月31日(土)～9月1日(日)
会 場	福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル
会 頭	吉永陽一郎(吉永小児科医院 院長)
事務局 長	長井 健祐(長井小児科医院 院長)
ウェブサイト	http://www.sagpj29.com
	※楽な服装でお越しください。

※がついているプログラムは事前申込が必要です。

8月30日(金)	前夜イベント※	19:00～21:00	Gate's7
8月31日(土)	開会式	8:50～9:00	A-3-1
	全体集会	13:10～13:50	A-3-1
	会頭指定講演1	13:50～14:20	A-3-1
	会頭講演	14:20～14:50	A-3-1
	会頭招聘講演	15:00～16:30	A-3-1
	教育講演1～7	午前・午後	各会場
	シンポジウム1～7	午前・午後	各会場
	招待講演1・2	15:00～16:40	A-4-9
	招待講演3	15:00～15:50	A-4-13
	ワークショップ※	15:00～18:00	各会場
	一般演題 口演	9:00～11:45	A-2-3・A-2-4・A-4-9 A-4-11・A-4-13
	こどもどこセミナー	15:00～17:30	B-2-2
	ランチョンセミナー※	12:00～12:50	各会場
	パネル展示	12:00～17:00	福岡国際会議場2Fロビー
	患者・家族の会、支援者の会	9:00～17:00	福岡国際会議場5Fロビー
	懇親会※	19:00～21:00	ホテルオークラ福岡
	託児サービス※		
	企業展示	9:00～17:30	福岡国際会議場201+202

9月 1日(日)	会頭指定講演 2	14:20 ~ 15:20	A-3-1
	特別講演 2	9:00 ~ 9:50	A-4-13
	招待講演 4	9:00 ~ 10:00	A-5-1
	特別講演 1	9:50 ~ 10:40	A-4-9
	教育講演 8 ~ 18	午前・午後	各会場
	シンポジウム 8 ~ 9	午前	各会場
	SIG1	9:00 ~ 11:30	B-2-2
	SIG2	13:00 ~ 14:30	B-2-2
	ワークショップ※	9:00 ~ 11:30 13:00 ~ 15:30	各会場 各会場
	小児 AMR 対策セミナー※	9:00 ~ 15:30	A-2-4
	ハンズオンセミナー※	13:00 ~ 15:00	各会場
	ランチョンセミナー※	11:50 ~ 12:40	各会場
	パネル展示	9:00 ~ 15:00	福岡国際会議場 2F ロビー
	患者・家族の会、支援者の会	9:00 ~ 14:00	福岡国際会議場 5F ロビー
	託児サービス※		
	企業展示	8:45 ~ 14:00	福岡国際会議場 201+202
	閉会式	15:30 ~ 16:00	A-3-1

※事前申込の方法と受付期間

すべて下記の第29回年次集会ウェブサイトからお願いします。定員に達した場合には受付期間中であっても受付を終了いたしますのでご了承ください。

第29回日本外来小児科学会年次集会ホームページ

<http://www.sagpj29.com>



受付日程一覧	
事前参加登録	4月15日(月) ~ 7月12日(金)
ワークショップ事前参加申込	4月18日(木) ~ 5月24日(金)
一般演題募集	4月15日(月) ~ 5月19日(日)
パネル展示募集	4月15日(月) ~ 5月24日(金)
ハンズオンセミナー申込	4月15日(月) ~ 7月12日(金)
ランチョンセミナー申込	4月15日(月) ~ 7月12日(金)
小児 AMR 対策セミナー申込	4月15日(月) ~ 7月 5日(金)
託児申込	4月15日(月) ~ 8月 9日(金)
宿泊申込	4月15日(月) ~ 7月12日(金)

3. タイムスケジュール

8月30日(金)

施設	階	会場名	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
ファミリア博多	16F	大会議室		30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
												役員会				
gate's	7F	Gate's7														前夜イベント P.48

8月31日(土)

施設	階	会場名	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	
福岡国際会議場	1F	1F ロビー															
		2F ロビー															
	2F	A-2-3	一般演題				LS						シンポジウム 3 P.37				
		A-2-4	一般演題										シンポジウム 4 P.37				
		201+202	ポスター展示・企業展示											プロミスタイム ※P25を参照			
	3F	3F ロビー	PC受付・書籍展示 P.30														
		A-3-1	スペシャルオープン クリニック P.40							全体 集会	指定 講演 P.29	会頭講演 P.29	招聘講演 P.29	教育講演 4 P.32			
	4F	4F ロビー	開会式	企業展示													
		A-4-1												WS31 - 1 P.12			
		A-4-2												WS31 - 2 P.12			
		A-4-3												WS31 - 3 P.13			
		A-4-4												WS31 - 4 P.13			
		A-4-5												WS31 - 5 P.14			
		A-4-6												WS31 - 6 P.14			
		A-4-7												WS31 - 7 P.15			
		A-4-9	一般演題				LS						招待講演1 P.35	招待講演2 P.35	シンポジウム 5 P.38		
		A-4-11	一般演題				LS							シンポジウム 6 P.38			
	A-4-13	一般演題				LS						招待講演3 P.35	教育講演5 P.33	教育講演6 P.33			
	5F	5F ロビー	患者家族の会・支援者の会														
		A-5-1	シンポジウム 1 P.36				LS							シンポジウム 7 P.39			
A-5-2		教育講演 1 P.32	教育講演 2 P.32	教育講演 3 P.32		LS						教育講演 7 P.33					
A-5-4													WS31 - 8 P.15				
福岡サンパレスホテル	2F	B-2-1	シンポジウム 2 P.36									セミナー 1 P.41	倫理講習会 P.44				
	B-2-2						総会 (代議員会)						こどもどこセミナー P.41				
	4F	B-4-1	生涯学習委員会														
ホテルオークラ福岡	4F	平安														懇親会 P.49	

※LS：ランチョンセミナー

9月1日(日)

施設	階	会場名	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
			30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
福岡国際会議場	1F	総合受付 特設クローク 書籍展示 コンタクトセンター	受付															
	2F	2F ロビー	パネル展示															
		A-2-3	セミナー3 P.42							ハンズオンセミナー1 (スキンケア) P.45								
		A-2-4	小児 AMR 対策セミナー P.44															
		201+202	ポスター展示・企業展示															
	3F	3F ロビー	PC 受付・書籍展示															
		A-3-1	シンポジウム 8 P.39			LS			教育講演18 P.35	指定講演2 P.31	閉会式 P.50							
	4F	4F ロビー	企業展示															
		A-4-1	WS1A - 9 P.16							WS1P - 17 P.20								
		A-4-2	WS1A - 10 P.16							WS1P - 18 P.20								
		A-4-3	WS1A - 11 P.17							WS1P - 19 P.21								
		A-4-4	WS1A - 12 P.17															
		A-4-5	WS1A - 13 P.18							WS1P - 20 P.21								
		A-4-6	WS1A - 14 P.18							WS1P - 21 P.22								
		A-4-7								WS1P - 22 P.22								
		A-4-9	教育講演8 P.33	特別講演1 P.32	教育講演9 P.33			LS		ハンズオンセミナー2 (吸入) P.45								
		A-4-11	教育講演10 P.33	教育講演11 P.34				LS		スポンサー セミナー P.47								
		A-4-13	特別講演2 P.32	教育講演12 P.34	教育講演13 P.34			LS										
		5F	5F ロビー	患者家族の会・支援者の会														
	A-5-1		招待講演4 P.35		教育講演14 P.34		LS											
	A-5-2		教育講演15 P.34	教育講演16 P.34	教育講演17 P.35		LS		ハンズオンセミナー3 (熱傷・外傷) P.46									
	A-5-4		WS1A - 15 P.19						WS1P - 23 P.23									
	福岡サンパレスホテル	2F	B-2-1	シンポジウム 9 P.40			LS		ハンズオンセミナー 4 (タッチケア) P.46									
			B-2-2	SIG1 P.43					SIG2 P.43									
			B-2-3	WS1A - 16 P.19				編集 委員会										
		4F	B-4-3						WS1P - 24 P.23									

4. 会場アクセス

会場

福岡国際会議場

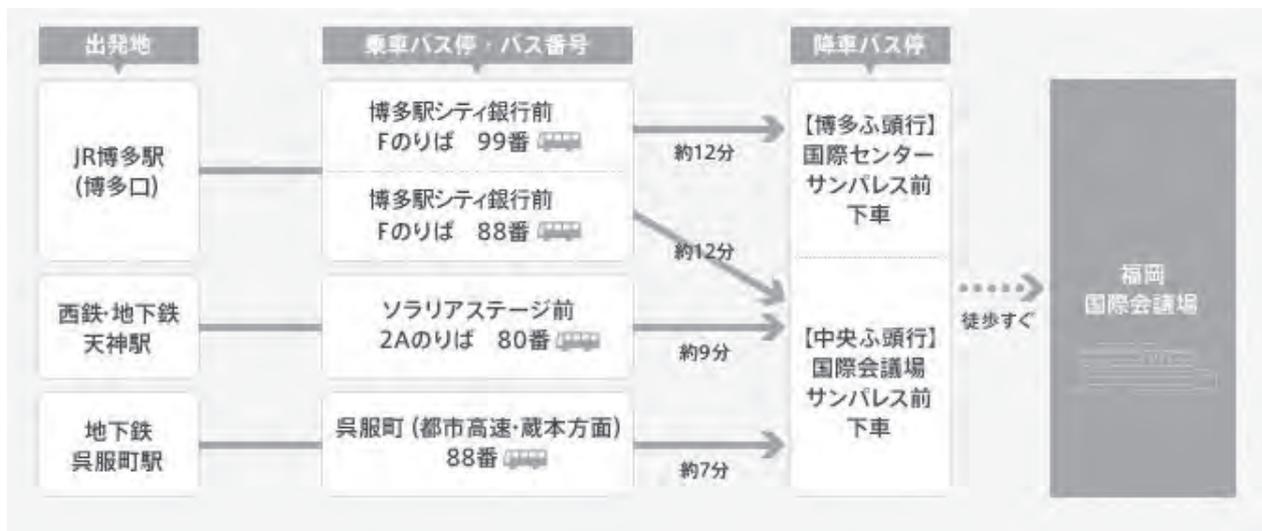
〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1 電話：092-262-4111

福岡サンパレスホテル

〒812-0021 福岡市博多区築港本町 2-1 電話：092-272-1123



交通アクセス



約20～30分間隔で連節バス (BRT) が運行しています。(天神～ウォーターフロント地区、博多駅～ウォーターフロント地区)。詳細は西鉄バスホームページで確認ください。

5. 事前参加登録・ランチョンセミナー (LS)

事前参加登録期間

申込日：2019年4月15日(月)～7月12日(金)

■年次集会参加費

参加区分	事前登録	当日登録
病院・診療所の開設者、企業(会員)	13,000円	15,000円
病院・診療所の開設者、企業(非会員)	16,000円	18,000円
その他の医師・歯科医師(会員)	8,000円	10,000円
その他の医師・歯科医師(非会員)	9,000円	11,000円
メディカルスタッフ(会員)	7,000円	9,000円
メディカルスタッフ(非会員)・その他の職種	8,000円	10,000円
初期研修医	2,000円	2,000円
学生(大学生・大学院生・専門学校生)		無料

◎ 上記参加費には学会誌抄録号は含まれません。

◎ 「学生」の方は、総合受付にて学生証を提示してください。提示のない場合は「その他の職種」の区分になります。

看護学生であっても、医療機関で勤務しているスタッフは「メディカルスタッフ」の区分になります。

◎ 事前参加登録締切後は、当日登録のみとさせていただきますのでご了承ください。

◎ 今回の年次集会では「小児科に関わる職種のうち、医師以外のスタッフ」をメディカルスタッフと表現しています。

【認定単位について】

日本小児科学会専門医認定研修会として1単位(新制度)

日本小児科医会地域総合小児医療認定医制度研修会として5単位

日本小児神経学会小児神経専門医制度認定研修会として2単位

その他の単位については、年次集会ウェブサイトでお知らせします。

【申込み方法】

第29回日本外来小児科学会年次集会ウェブサイト(<http://www.sagpj29.com>)よりお申込みください。

1) 事前参加登録は、「代表者登録」が必要です。まず、「代表者登録」画面へ進み個人情報をご入力後、「参加登録」へお進みください。

2) 参加登録が完了すると、ご登録いただいたメールアドレスあてに確認メールが自動返信されます。(確認メールが届かない場合はアドレスの入力間違い等が考えられます。事前参加登録申込担当までお問合せください。)

【懇親会について】

参加者の懇親と情報交換の場として懇親会を行います。

当日受付は定員に限りがありますので、ご希望の添えない可能性もございます。ぜひ事前登録をお願いいたします。学会に参加せず、懇親会のみのお申し込みはできませんので予めご了承ください。

懇親会申込締切：2019年7月12日(金) なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

日 時：2019年8月31日(土) 19:00～21:00

会 場：ホテルオークラ福岡 4F「平安」

会 費：5,000円

【ランチョンセミナー (LS) について】

LSは、事前申込みを行います。内容が決定次第、順次年次集会ウェブサイトで公開いたします。年次集会への参加登録後に、ウェブサイトにて7月12日(金)までに登録をお済ませ下さい。

当日は、空席のあるLSにのみ参加可能です。

【お支払方法について】

お支払締切日：**2019年7月12日(金)**までにお支払ください。

1) 参加登録受付メールが届きましたら、予約内容、金額をご確認の上、期日までにお支払ください。お支払締切日までにお支払いが確認できない場合、全ての事前登録は無効となりますのでくれぐれもご留意ください。

※7月12日(金)までであれば、変更や取消が可能です。

2) お支払方法は、「オンラインクレジット」または「銀行振込」にてお願いいたします。

ご希望のお支払方法をお申し込み時にご選択ください。

※銀行振込みの場合、振込手数料はお申込者様のご負担にてお願いいたします。

【変更・取消について】

変更及び取消のご連絡は、行き違いをさけるため、E-mailなど書面にてお願いいたします。

なお、お電話での受付は致しかねますので、何卒ご了承ください。

手配並びに準備の都合上、取消に伴う参加登録費のご返金は、7月12日(金)を過ぎた場合は一切できませんのでご了承ください。

【年次集会事前参加登録の当日までの流れについて】

開催前に参加証、LS整理券をお送りいたします。(8月上旬頃発送予定)

入金済みにも関わらず、8月19日(月)を過ぎても参加証等が届かない場合は、下記までお問い合わせ下さい。

当日はお送りした参加証を必ずお持ち下さい。お忘れになった場合は、総合受付にお問い合わせ下さい。

ネームホルダーは当日受付にご用意しております。学会参加中は、首から下げてご参加ください。

【プログラム・抄録集】

プログラム・抄録集(日本外来小児科学会誌「外来小児科」学会抄録号)は、会員の方には全員送付されます。学会員以外の方で、抄録集をご希望の方は、事前参加登録の際に、一緒にお申し込みください(一冊2,000円)。

抄録集は、当日会場でも販売いたしますが、数に限りがございます。売り切れの時はご容赦ください。

■お申込み及びお問合せ

『第29回日本外来小児科学会年次集会』事前参加登録受付

(株)エス・ティー・ワールド コンベンション事業部

〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-30 天神西通りビジネスセンター 6F

E-mail : sagpj29@stworld.jp

営業時間：平日 10:00 ~ 18:30 (土日祝休)

6. ワークショップ (WS)

WS 事前参加申込の受付期間

2019年4月18日(木)～5月24日(金)

(第29回年次集会ウェブサイトからのお申込みのみとさせていただきます)

今年の年次集会WSは、8月31日(土)15:00～17:30、および9月1日(日)9:00～11:30、13:00～15:30の3つの時間帯に開催いたします。各WSのご案内は12ページ以降掲載してあります。参加条件などにご注意いただき、第29回年次集会ウェブサイトからWS事前参加申込をお願いします。同じ時間帯のWSに同時に複数お申込みをすることはできません。WSに参加する場合、原則として途中退室はできませんのでお気をつけください。定員を超えるお申込みがあった場合は、WS主催者(リーダー)が参加の諾否を決定しますのであらかじめご了承ください。定員に満たなかったWSは、当日参加が可能となる場合があります。当日参加が可能となったWSにつきましては開催当日の8:00から総合受付に掲示して受付いたします。(先着順)。

■ WS 事前参加申込の方法

※お申込みの前に必ず「年次集会の事前参加登録」をお済ませください。

1. 第29回年次集会ウェブサイトアクセスしてください。
<http://www.sagpj29.com>
2. トップページ左にあるメニューから「WS参加申込」をクリックしてください。
3. 参加申込手順をお読みいただき、連絡先のメールアドレスを登録してください。
4. ご登録予定のメールアドレスから ws-sankakibou@future.or.tv に空メール(タイトルや内容は不要)を送信してください。5分ほどで返信メールが届きます。
5. 返信メール内に記載されている「リンク先」を開いてお申込みください。
6. お申込みは携帯電話のアドレスも使用可能です。
7. 詳しい申込方法は、ウェブサイトのWS参加申込メニューにある参加申込手順を参照ください。
8. 各ワークショップの受付状況は下記のページからご確認ください。
<http://ws.webserv.jp/workshop/app/receipt.cgi>

■ 参加申込WSの決定と通知

WS参加の諾否は第29回日本外来小児科学会年次集会WS担当から連絡いたします。5月31日(金)になっても連絡がない場合は、WS担当の杉村、高岸、橋野、藤野、谷(29th-ws@fujino-iin.com)までご連絡をお願いいたします。

※WS担当からの連絡は ws-office@future.or.tv から送信いたします。このアドレスからのメールを着信拒否しないようご注意ください。

■ WSのご案内

1. WS番号
WS31; 8月31日(土)のWSを表します。
WS1A; 9月1日(日)午前のWSを表します。
WS1P; 9月1日(日)午後のWSを表します。
2. 進め方
研修型: 講義や発表の内容を確認しながら討論し、学習内容をまとめて成果とします。
問題解決型: 提示されたテーマについて解決策を自由に討論し、その結果を成果とします。
3. 定員
最大参加人数を示しています。一部のWSでは同一施設からの申込人数に制限があります。

4. 参加費

有料のWSに参加される方は、参加費を当日WSリーダーにお支払いください。会計処理はすべて各WSの責任でお願いいたします。WSリーダーはあらかじめ参加者に対して費用の内訳を提示してください。

5. 当日参加の可否

当日参加「不可」；事前申込で参加があらかじめ決定した方だけが参加できます。
当日参加「空きがあれば可」；事前申込で定員に達している場合は当日参加ができません。
あらかじめ事前登録することをお勧めします。

6. 対象者

討論するテーマの関係で、参加者の職種に制限を設けているWSがありますのでお申し込みの際にご注意ください。

7. WS委員会アンケートへのご協力のお願い

WS終了後、すべての参加者、WSのリーダー、サブリーダーを対象にアンケートを実施いたします。
原則としてWS終了後に各会場に設置した回収箱にお入れください。
やむを得ず提出できなかった方は、後日、WS委員会の齊藤までFAXまたは郵送にてお送りください。
年次集会WSの質の向上のため、是非ご協力ください。

アンケート送付先：多古中央病院小児科 齊藤 匡 FAX；0479-76-3286
郵送先；〒289-2241 千葉県香取郡多古388-1 多古中央病院 齊藤 匡

8. WSに関するお問い合わせはE-mail；29th-ws@fujino-iin.comへお願いいたします。

年次集会WS担当：杉村、高岸、橋野、藤野、谷

ワークショップ (WS) 一覧

8月31日(土)

WS番号	テーマ	リーダー名	定員
WS31-1	クレーム対応を考える	青山 祐子	20
WS31-2	外来での事故防止を進めよう(3) ～事故防止対策の企画・運営を学んでみませんか～	及川 郁子	40
WS31-3	服薬指導への取り組み その18 「子どもの服薬指導に必要な情報、伝えたい情報について考える」	高橋 肇	40
WS31-4	私たちにも明日からできる母乳育児支援	瀬川 雅史	40
WS31-5	ワクチン接種漏れを減らす工夫 その2～ワクチンあるある県民Show～	森田 弘子	30
WS31-6	定期予防接種の適正な委託料金を提言する	藤岡 雅司	30
WS31-7	ワクチン誤接種防止に向けてパソコンで2019年版 「注意喚起ツール」を作ろう・使ってみよう	卯月 勝弥	20
WS31-8	親と子への服薬支援 その4～正しく塗り薬を使ってもらうために～	上荷 裕広	50

9月1日(日) 午前

WS番号	テーマ	リーダー名	定員
WS1A-9	スタッフを輝かせるために～リーダーが考える人財育成術～(その2)	田草 雄一	40
WS1A-10	発達障害ある児への服薬を支援するための絵カードを用いたツールの作成	松本 康弘	30
WS1A-11	クリニックにおけるSNSの有効活用を学ぼう	矢嶋 茂裕	40
WS1A-12	クリニックの電話応対～小児救急電話相談を応用して～	福井 聖子	40
WS1A-13	プライマリケアの風邪診療に役立つ漢方薬の使い方～抗菌薬適正使用を意識して～	森 蘭子	20
WS1A-14	ワクチン接種に否定的な人たちに私たちはどう向かい合うのか	藤岡 雅司	40
WS1A-15	クリニックでLINE@を使おう	池澤 千恵子	50
WS1A-16	優しさ、真心、熱意で虐待は予防できる(パート2) =間主観性(心の響きあい)、情緒応答性(情緒の動きに伝える) 親支援による虐待予防=	澤田 敬	50

9月1日(日) 午後

WS番号	テーマ	リーダー名	定員
WS1P-17	「小児生活習慣病検診の全国調査」 ～どこでどのような検診が行われているかを皆でまとめよう～	青木 真智子	30
WS1P-18	あなたも「いのちの授業」(PUSH講座)を開いてみませんか? ～園や学校で、職場や地域で～	藤川 順子	40
WS1P-19	子どもの心のサインを読みとる ・・・ロバートソンフィルムを教材にして・・・その4	松原 徹	40
WS1P-20	乳児の鉄欠乏 鉄の補充は必要か	伊藤 純子	30
WS1P-21	子どもの貧困に気づき支援するために part4	和田 浩	40
WS1P-22	地域医療の中での小児科医の役割	松浦 伸郎	20
WS1P-23	老若男女 みんなで乳児健診について論じ合ってみませんか	原 朋邦	40
WS1P-24	後継者がいない開業医(医院・診療所・クリニック)の継承問題	村上 直樹	30

WS31-1		クレーム対応を考える	
[リーダー] 青山 祐子 (川井小児科クリニック) [サブリーダー] 後藤 友理恵 (つつじが丘こどもクリニック) 鶴田 恵子 (川井小児科クリニック)			
<p>日常の医療業務の中で、患者から時に思わぬクレームを受けることがあります。迅速で適切な対応をすれば問題は速やかに解決しますが、慌てて間違った対応や、その場しのぎの対応をすると益々クレームは増幅します。患者からのクレームにどう対応したら良いか日頃から学んでおく必要があります。前回のWSで各クリニックのクレーム事例の紹介では「待ち時間が長い」「予約していた時間に診察してもらえない」「診察の順が前後した」など多くは共通していましたが、思いもかけないクレーム事例もありました。各クリニックで実際に経験した事例を題材とします。ロールプレイ形式で「適切でない対応」を見ていただき、グループ討論で何が問題で、どのような対応が適切かを話し合います。そして実際に「適切な対応」をロールプレイしてみましょう。クリニックの業務の中で遭遇したクレームに対して慌てることなく、また苦手意識を持たずにどのような患者に対しても正しく向き合うことを学びましょう。それはクリニックに対する患者の信頼と満足度向上にも繋がると思われます。</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
定員	20名	事務、看護師 *前回参加いただいたクリニックは、できるだけ ご遠慮ください。	
1施設からの定員	1名		
当日参加	不可		
参加費	500円		

WS31-2		外来での事故防止を進めよう(3) ～事故防止対策の企画・運営を学んでみませんか～	
[リーダー] 及川 郁子 (東京家政大学) [サブリーダー] 川口 千鶴 (順天堂大学保健看護学部)			
<p>(趣旨)「外来での事故防止を学ぼう」というテーマで2014年～2016年の3年間、外来で起こる事故予防について参加者と検討してきました。2017年からは、参加者がワークショップで学んだことを職場でリーダー的役割を取りながら、事故防止対策を具体的に実践できる企画や運営方法について学ぶワークショップを行っています。今回はその3回目です。(進め方)参加者の職場における事故防止対策や予防上の問題などについて事前調査を行います。当日は、事前調査を踏まえて事故防止対策の企画・運営方法の計画について話し合いを行います。また、これまで使用した教材なども紹介し、事故防止対策の方法を具体的にイメージできるようにします。教材の活用方法、実施時期、評価方法などを職場の現状に合わせて考え、事故防止対策の計画書を作成します。2年間の参加者の方々からは実行したいという意見があり、実際、2017年は半数以上の方から企画・運営に結びついたというご連絡をいただきました。今回も外来の事故防止対策をどのように計画したらよいか悩んでいる方、リーダーとなって進めたい方に参加していただき、事故防止対策を広めていきたいと考えています。</p>			
WSのタイプ	研修型	対象	
定員	40名	メディカルスタッフ (看護職、事務職等)	
1施設からの定員	1名		
当日参加	不可		
参加費	300円		

WS31-3		服薬指導への取り組みその18「子どもの服薬指導に必要な情報、伝えたい情報について考える」	
[リーダー]	高橋 肇 (はじめこどもクリニック)		
[サブリーダー]	坂井 美千子 (市民調剤薬局)		
	高橋 めぐみ (はじめこどもクリニック)		
<p>今回は子どもの服薬指導に必要な情報、伝えたい情報について取り上げることにしました。先日参加した(成人用)吸入療法薬の研修会では呼吸器専門医が「吸入の服薬指導をきちんとやってほしい」と調剤薬局に熱く要望していましたが、出席した薬剤師の先生方は「私たちは皆きちんとやっている」との認識でした。演者が所属する病院薬局長の「医師の求めるレベルに達していない」との見解が正しいようですが…認識のずれを痛感しました。また、調剤薬局では小児在宅の院外処方箋だけでは病名も過量投与されている薬の処方理由も分からない、医師にも聞けないので困っているそうです。今回は医療機関と調剤薬局お互いの情報交換、どうしても知りたい・知らせてほしい情報、お互いに伝えたいことを快く受け入れてもらう・理解してもらうための工夫などについて事前アンケートを行い検討したいと思います。子どもの薬物療法は変わりつつあります。新しい治療が開発されるとともに、昔からある風邪薬などでも有効性や副作用などのエビデンスの検討が行われ、抗菌薬の適正使用を含めて薬物治療の見直しを迫られているようです。最近(今の段階では)薬を処方しないあるいは有効ではない理由を母親や患児に説明することが多くなりました。患者側へ伝わる・分かってもらう説明の仕方も検討したいと思います。私たちのWSでは事前アンケートや母親アンケートでデータや問題点を集め、患児や母親の意見や要望をなるべく拾い上げた服薬指導内容にするように努めてきました。質問や要望には時間の許す限り(後日ネットでも)対応しますのでよろしくお願い致します。</p>			
WSのタイプ	問題解決型	対象	
定員	40名	制限なし	
1施設からの定員	2名		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

WS31-4		私たちにも明日からできる母乳育児支援	
[リーダー]	瀬川 雅史 (のえる小児科・母乳育児支援センター)		
[サブリーダー]	江田 明日香 (かるがも藤沢クリニック)		
	古賀 亮一 (古賀小児科)		
	多田 香苗 (愛育こどもクリニック)		
	古賀 浩子 (古賀小児科)		
<p>科学的根拠とカウンセリングスキルに基づく母乳育児支援を広めようと、一昨年・昨年ほぼ同じメンバーで母乳育児支援のWSを行った。これまでの反省点を生かして、来年は職種制限せず医師も交えてディスカッションを行えるようにグループワークを行いたいと考えている。<要旨>小児科外来において、母親からの「赤ちゃんの体重増加は大丈夫か」、「母乳や人工乳は十分足りているか」などという授乳に関する相談はとても多い。多忙な外来診療の中では、「なるべく母乳で」などの声かけだけで終わってしまったり、実際の支援も看護師・助産師に任せきりになってしまうことが多い。小児科外来で母乳育児支援を行うことは、母子の健康増進はもちろんのこと、施設にとっても育児支援の要となる。さらに小児科医が看護師・助産師など他職種と協働して母乳育児支援を行うことは、その家族の子育て環境等の情報を支援者間で共有し、子どもの成長・発達評価ができること、栄養障害や発達障害、その他の疾患を早期発見でき、母親の精神状態を評価することの助けになるなど多くのメリットがある。このワークショップでは、時間と資源の限られた小児科外来の中で、母乳育児支援を行うための具体的方法を探り共有する。まず、科学的根拠に基づいた母乳育児支援の基礎知識を前提に、小児科外来で母乳育児支援に取り組んでいる施設の現状を提示する。そして、後半のグループワークでは、自施設での母乳育児支援の現状と課題を明確にし、明日から取り組める具体的な方法を参加者同志が議論をして共有し、それぞれが持ち帰ることを目標とする。今回は、原則として、1施設から医師と他職種がそれぞれ1名以上参加することを参加条件としたい。</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
定員	40名	職種制限はないが、1施設から医師と他職種がそれぞれ1名以上参加することを参加条件としたい。	
1施設からの定員	制限なし		
当日参加	不可		
参加費	500円		

WS31-5		ワクチン接種漏れを減らす工夫 その2 ～ワクチンあるある県民 Show～	
[リーダー] 森田 弘子 (福田診療所) [サブリーダー] 石井 美智代 (シロアムこどもクリニック) 池田 美枝子 (シロアムこどもクリニック) 斧田 順子 (福田診療所)			
<p>前回参加された方はもちろん、今回初めてという方も大歓迎!! 前回のWSでは、ワクチン接種漏れを減らす工夫として、最初に「サンプルの母子手帳から接種漏れを探す」、次に「どんな工夫をしているか寸劇を交えながら考える」、最後に「キャッチフレーズを考え発表する」という内容で行いました。その結果「いつもカバンに母子手帳」「〇歳過ぎたらお金かかるよ」などのキャッチフレーズを作ることができました。その話し合いの中で「あれ?これってうちだけ?」「それって関西だけ?」という話題が出ました。そこで今回は「ワクチンあるある県民 Show」を開催します。「あ～、それうちもあるよ」「それってあるあるやな～」など楽しく情報交換ができればと思っています。また、ワクチン接種漏れを減らすためには、私たち医療者側からの一方的な働きかけだけでなく保護者側にも「ワクチンを打とう」という意識を持ってもらうこと、私達と保護者が「両想い」になることも大事なことで考えています。そのため情報交換だけでなく、保護者に「ワクチンを打たないとね」と意識してもらうための働きかけの工夫についても検討したいと思います。その一つの方法として、前回のWSで作成したキャッチフレーズを、参加者の皆さんに事前に配布しますのでお試し下さい。どんな風に使ったのか、使ってみてどうだったかなどの意見交換をしたいと考えています。また、その他にどんな働きかけがあるのかをグループで話し合い発表しましょう。話し合いのなかで、表現方法や言葉使いなど様々な工夫が出ればと思います。</p>			
WSのタイプ	問題解決型	対象	
定員	30名	看護師	
1施設からの定員	2名		
当日参加	不可		
参加費	500円		

WS31-6		定期予防接種の適正な委託料金を提言する	
[リーダー] 藤岡 雅司 (医療法人ふじおか小児科) [サブリーダー] 片岡 正 (かたおか小児科クリニック)			
<p>定期予防接種は市町村が実施主体となる自治事務であり、主に郡市区医師会との委託契約における委託料金の算定は各自治体に任されています。ほとんどの自治体においては、医科診療報酬点数表の金額を準用しており、国が地方交付税の算定根拠とする「問診料等」の基準単価についても同様です。しかし、予防接種の業務内容は健康保険法に基づく「疾病又は負傷を治癒させたり症状を軽快にしたりするための(医療)行為」ではないことは明白であり、単に金額といえども医科診療報酬点数表を準用することに合理性はありません。一昨年のワークショップでは、適正な委託料金の算定根拠を検討する前提として、予防接種にかかる業務内容を時系列に沿って詳細に検討しました。昨年のワークショップでは、それぞれの業務についての適正な金額の設定を行いました。3年目となる今回のワークショップでは、混合ワクチンと単味ワクチンも区別して、根拠に基づいた適正な委託料金を提言し、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会における議論のたたき台としてもらえるようなプロダクトを作成する予定です。定期接種事業に主体的に関わる立場にある医師の参加を希望します。</p>			
WSのタイプ	問題解決型	対象	
定員	30名	医師	
1施設からの定員	制限なし		
当日参加	不可		
参加費	無料		

WS31-7		ワクチン誤接種防止に向けてパソコンで2019年版 「注意喚起ツール」を作ろう・使ってみよう	
[リーダー] 卯月 勝弥 (シロアムこどもクリニック) [サブリーダー] 太田 文夫 (おおた小児科) 卯月 ひとみ (シロアムこどもクリニック)			
目標 昨年のWSで試作したツール(被接種者とその属性、対象ワクチン、接種量と使用期限をパソコン(PC)上に表示し、注意喚起を促すエクセルシート)のブラッシュアップと接種間隔をめぐる誤接種防止支援ツールの試作 事前学習 参加者は自分のPCに事前配布の資料をインストールした上で以下をやってみる。 1) 前年試作のツールの運用と問題点の抽出 特に個々のクリニック仕様へのカスタマイズ 2) 接種間隔アラートに向けたアイデアや情報の交換 当日の進行 1) 事前配布の資料について、内容説明、デモ運用 2) カスタマイズ・工夫をめぐる情報交換と討論(PC画面上での視認性、アラートの有効性、個別医院の情報転載方法など) 3) 複雑な接種間隔のアラートを、完璧ではなくとも、少しは実用的なものとして試作してみる 4) 自院で運用できそうなレベルのエクセルシートがプロダクトになる 前回のWSの反省をふまえて 予防接種の実際に少しは理解のある外部のアシスタントの参加協力を予定している			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
定員	20名	制限なし	
1施設からの定員	制限なし		
当日参加	不可		
参加費	1,000円		

WS31-8		親と子への服薬支援 その4 ～正しく塗り薬を使ってもらうために～	
[リーダー] 上荷 裕広 (すずらん調剤薬局) [サブリーダー] 仙敷 義和 (信栄調剤薬局) 齋藤 栄二 (あおば薬局) 三浦 哲也 (三浦薬局)			
小児科外来において服薬を拒む患児に遭遇することは稀でなく、小児科医療に携わる私たちにとっては永遠のテーマであると考えます。服薬拒否を解決するための手法を学ぶワークショップは当学会の初期から行ってきたが、過去3回の年次集会におけるワークショップでは「解決に向けてのアセスメントから何を考え、親と子にどのような指導や支援を行えば良いのか…」を事例検討から参加者に体験していただいてスキルアップを図ってきた。毎回異なる事例設定を行うことで、参加者に新たな気づきを与えることが出来ていると考えます。4回目の今回は、アトピー性皮膚炎におけるステロイドやタクロリムスの外用剤を取りあげて検討したい。これらの薬剤については、患児が塗布を嫌がる場合と保護者が忌避する場合があります。指導において困難な事例に遭遇することも稀ではない。そこでアドヒアランスを高めるために、どのようにアセスメントして指導すればよいのかを事例を通じて学びたいと考える。“くすりを飲まない”だけではなく“くすりを飲ませない”という保護者の行動の本質的な原因を考えることから、子ども自身の成長や生活習慣、ひいては親子関係にまで介入することで解決に導く手法を学びたいと考える。親と子に気づきを与えるだけでなく、両者を納得させることで行動変容を引き起こすことが可能となるため、その手立てを参加者と一緒に学びたい。これらの服薬支援は育児支援にもつながることであり、服薬を通じた育児支援をメディカルスタッフが行うことが可能となれば、小児科外来の魅力がさらに高まることになると考えて本ワークショップを開催したい。			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
定員	50名	制限なし。ただし登録後のメール連絡において参加者個人と直接メール連絡が可能である方	
1施設からの定員	1名		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

WS1A-9		スタッフを輝かせるために ～リーダーが考える人財育成術～(その2)	
[リーダー]	田草 雄一	(ぼよぼよクリニック)	
[サブリーダー]	梶山 瑞隆	(梶山小児科・アレルギー科)	
	中野 景司	(ぐんぐんキッズクリニック)	
	松田 邦彦	(ぐんぐんキッズクリニック)	
	来丸 貴志	(インクメディカルコンサルティング)	
<p>【目的】 その1ではリーダーのあり方に焦点を当て、特にチームビルディングに関するグループワークを通して体験していただきました。ワークショップ後には「新たな気付きを得ました」や「グループワークを実際に自院でやってみます!」といったお声も寄せられました。その中でスタッフとの距離感や伝え方、指導の仕方など、具体的にスタッフを輝かせるための「How To」に関するニーズも多くあったため、今回は「あり方」に加えて「育成術の具体例」もお伝えする内容になっています。実際に自院に持ち帰っていただき、今後役に立ていただけるWSになればと企画しました。</p> <p>【対象】 院長、院長の配偶者、スタッフのリーダーまたはリーダーを目指す方</p> <p>【概要】 リーダー・サブリーダーの実際の体験を題材に「グループワーク」「グループディスカッション」「プレゼンテーション」を行っていただき、みなさんに『気付き』や『How To』をお届けします。どんなワークが待っているかは乞うご期待!!一つでも多くの笑顔の花を、あなたの医院に咲かせませんか?</p>			
WSのタイプ	研修型		対象
定員	40名		制限なし
1施設からの定員	2名		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

WS1A-10		発達障害ある児への服薬を支援するための 絵カードを用いたツールの作成	
[リーダー]	松本 康弘	(ワタナベ薬局上宮永店)	
[サブリーダー]	木下 博子	(大分こども病院)	
	金原 洋治	(かねはら小児科)	
<p>発達障害特性がある児は医療現場において様々なトラブルを起こす。特に、薬物治療を行う際、服薬を拒否したり、抵抗することが多々みられる。一度、服薬拒否すると、その後も薬を服用できないことがあり、保護者の悩みの種となっている。発達障害ある児の服薬拒否に対して、従来の食物への混ぜ合わせの様な服薬指導では困難な場合が多く、より児の性格に対応した指導が必要となる。発達障害、特に自閉症スペクトラムがある児は視覚優位のため、話し言葉という情報を取り込むことが苦手で、表情やニュアンスの読み取りに課題がある。話し言葉よりも文字や写真などの視覚的な情報の方が取り込みやすい傾向にあるため、指導する場合は絵カードや写真を用いて「構造化」することで何をするかを分かりやすくすることができる。今回のワークショップではこの絵カードによる構造化を発達障害がある児の服薬指導に生かせないか検討する。各グループに分かれて、一連の服薬の流れの絵カードを作成し、服薬の流れを構造化する。また、発達障害を専門とする医師に同席してもらい、出来上がったツールを専門家の立場で評価して頂く予定である。</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型		対象
定員	30名		医師、薬剤師、看護師、 保育士、臨床心理士
1施設からの定員	2名		
当日参加	不可		
参加費	無料		

WS1A-11		クリニックにおけるSNSの有効活用を学ぼう	
[リーダー]	矢嶋 茂裕	(矢嶋小児科小児循環器クリニック)	
[サブリーダー]	須貝 雅彦	(おひさま子どもクリニック)	
	橋本 裕美	(橋本こどもクリニック)	
<p>クリニックの情報発信ツールとしてはホームページや院内報、メールマガジンなどに加えて SNS と言われるいくつかの新しいツールが利用され始めている。特に LINE は若い世代ではほぼ必須のツールとなっており業務で使用する LINE@ も企業のほか、行政も利用している。今回の WS では様々な SNS ツールの導入経験を紹介した上で導入までの課題、導入後の有効活用方法などの情報交換をする予定である。これから導入したい人、導入してフォロワーが増えない人にとっても参考になるよう、初心者から上級者まで幅広く参加者を募り、クリニックの情報発信ツールとしてすぐにでも有効活用できるノウハウを獲得できるようにしたい。進め方それぞれの使っている SNS の紹介。全員、事前に LINE でグループ作成。参加者にはすべて LINE@ のアカウントを取得していただき相互にフォロワーとなって情報発信を試みていただく。その上でフォロワー拡大の方法、発信の仕方、1対1トークの活用など有効活用方法を探っていく。時間的に余裕があれば Facebook, Instagram などの活用まで広げたい。</p>			
WS のタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
定員	40 名	医師のみ	
1 施設からの定員	1 名		
当日参加	不可		
参加費	1,000 円		

WS1A-12		クリニックの電話対応～小児救急電話相談を応用して～	
[リーダー]	福井 聖子	(NPO 法人小児救急医療サポートネットワーク)	
[サブリーダー]	田原 卓浩	(たはらクリニック)	
	阿部 榮子	(NPO 法人小児救急医療サポートネットワーク)	
	山崎 祐嗣	(NPO 法人小児救急医療サポートネットワーク)	
<p>クリニックへの電話は、単なる問い合わせや受診の相談などさまざま、受診患者の保護者といっても、声だけの対応に戸惑うことはよくあります。電話を介する会話が診療現場の会話と異なる配慮を必要とすることは、案外意識されていません。保護者の立場に立って話をよく「聴く」こと、電話での指導は限定的と理解すること、クリニックの方針を整理して共有することが良い電話対応につながります。対応がスムーズになるとクリニックのイメージアップにもなり、聴き取った内容は保護者への指導の一環として重要な役割を果たすなど、日常診療に良い影響を及ぼします。WS では、最初に電話の会話の特徴を学び、グループワーク前半は保護者の立場で電話の会話を考えます。次に電話の録音を聞いて、保護者の電話の目的が受診希望か相談か聞き分ける練習を行います。相談の場合の注意する点や会話の進め方について解説します。後半は、クリニックの電話でよく話題に上がる「電話で済ませようとする保護者」について話し合います。電話は一方的な指導を伝えるのではなく「聴く」手段として有効で、保護者支援に役立ちます。電話でどう応えたらよいか戸惑うことの中には、クリニックでの方針が曖昧なこともあります。電話で受付事務職が答えられることと、看護師や医師が対応することをあらかじめ話し合っておくようポイントを説明しています。過去の WS 参加者からは「電話に対する見方が変わった」「苦手意識が減った」「受付の電話対応の方法を話し合っただけ」「電話でよく問い合わせのある内容は、説明の書式を作った」など好評でした。単なる接遇ではなく、発想の転換を目指す研修を是非ご体験ください。</p>			
WS のタイプ	研修型	対象	
定員	40 名	制限なし	
1 施設からの定員	3 名		
当日参加	不可		
参加費	1,500 円		

WS1A-13		プライマリケアの風邪診療に役立つ漢方薬の使い方 ～抗菌薬適正使用を意識して～	
[リーダー] 森 蘭子 (森こどもクリニック) [サブリーダー] 坂崎 弘美 (さかざきこどもクリニック) 木全 かわり (かわしまファミリークリニック) 木許 泉 (広瀬クリニック)			
プライマリケアの現場で毎日遭遇するいわゆる「風邪」。耳、鼻を含む上気道から、下気道のウイルス感染症であり、抗菌薬の適応はほとんど無い。自然治癒傾向が強く、西洋医学の治療は対症療法が中心となる。漢方薬の風邪治療は、自身の病原体に対する抵抗力を増強させるような使い方や、副作用の心配の少ない方剤がある。小児においては、服用の困難さは克服しないといけない課題ではあるが、漢方薬を用いることより、自然治癒の促進、諸症状の緩和、体力の回復などが期待できる。そして、無用な抗菌薬使用を抑えることが可能である。本WSは、小児科診療の現場において、漢方薬を使用するノウハウを習得することが目的である。今までアレルギー疾患、心身症、家族療法における漢方薬の使い方を学んできた。今回は、一般的な風邪診療に抗菌薬適正使用を意識した漢方の活用方法について取り上げる。実際のWSについての計画を示す。まず、参加者が同じ立場で思考する過程を体験することを考慮し、参加者は医師限定とする。漢方処方経験値に偏りが無いようにグループ分けをする。基本的な処方をショートレクチャーとして解説した後、模擬症例に対し、実際の診療現場を想定して、問診事項、診察方法、注目すべき所見を確認しつつ、処方選択の思考過程をグループ内でディスカッションし、発表する。漢方薬の選択は、複数の正解が存在する場合もあり、他のグループの考えを聞くことも、大きな勉強になる。症例は、効率よく思考過程が学べるような典型例から、応用が必要な症例まで取り上げたい。最終的には、参加者が、自分のレベルに合った漢方薬の使い方を習得し、夫々が、さらなる学習の継続につながる問題提起や課題を持ち帰ることができるようにしたい。また、我々WSリーダー・サブリーダー自身も、参加者からの意見や疑問点から、よりよい漢方学習の方法論について学ぶことができると考えている。			
WSのタイプ	研修型	対象	
定員	20名	医師	
1施設からの定員	2名		
当日参加	不可		
参加費	500円		

WS1A-14		ワクチン接種に否定的な人たちに私たちはどう向かい合うのか	
[リーダー] 藤岡 雅司 (医療法人ふじおか小児科) [サブリーダー] 宮原 篤 (かるがもクリニック)			
一般の書籍やインターネット、SNS等で得られるワクチンに関する情報は玉石混交です。とりわけ、予防接種に懐疑的、否定的な、あるいは明確に反対する情報も氾濫しています。そのような状況が影響しているのか、昨今はワクチン接種に対して不安を募らせたり、拒否している保護者が増加しているのではないのでしょうか。昨年のワークショップでは、到達目標として「予防接種の啓発や勧奨の場面において、主体的・積極的・指導的に関われるようになる」を掲げました。具体的には、予防接種に対する認知の偏りや誤解を出発点として、個々の状況判断や、啓発や勧奨における対応の工夫に気づき、各々の施設における改善に繋がってまいりました。今年のワークショップは前回より焦点を絞った内容を計画しています。極端な「自然志向」、ホメオパシーなどの「代替医療」、また、明確な「反ワクチン運動」などの実際について知ると共に、このような極端な考え方や現実に行われている行動に対して、現場の医療者としてどのように対応していけばよいのかを参加者で自由に考えていきたいと思います。			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
定員	40名	制限なし	
1施設からの定員	2名		
当日参加	不可		
参加費	無料		

WS1A-15		クリニックでLINE@を使おう	
[リーダー] 池澤 千恵子 (医療法人いけざわこどもクリニック) [サブリーダー] 辻 真弓 (辻医院) 森川 智恵子 (医療法人いけざわこどもクリニック) 愛甲 みな子 (医療法人いけざわこどもクリニック) 児玉 幸代 (医療法人いけざわこどもクリニック)			
小児科クリニックに来院する保護者はまさに SNS 世代。私たち医療者も便利な LINE@ を利用し、保護者へ最新情報をお届けしたいと思います。しかし、医療で LINE @ というと、患者さんから「何が流れてくるんですか?」という方も大勢います。また、せっかく LINE @ を始めたが登録数がなかなか伸びないクリニックもあるでしょう。今回、あっと驚く当クリニックにおける LINE@ の使い方をはじめ、4 か月で 2000 人に達成した経緯をご紹介します。また他のクリニックでの使い方、お知らせ内容、また文章の作り方などをグループディスカッションし、新たな使用方法も検討していきたいと思ひます。便利な LINE@ はクリニックの増益にも繋がります。① LINE@ に興味のある施設、また② 実際に始めたが今ひとつ成果が得られない施設、③ 既にはっきり成果を出している施設を募集し、クリニックにおける LINE@ を極めたいと考えています。			
WS のタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
定員	50 名	LINE@ を実際に使用しているクリニック、LINE@ に興味があり、今後検討しているクリニック上記の医師以外で SNS を発信できるスタッフならどなたでも参加可能とする。	
1 施設からの定員	2 名		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	500 円		

WS1A-16		優しさ、真心、熱意で虐待は予防できる(パート2) = 間主観性(心の響きあい)、情緒応答性(情緒の動きに応える)親支援による虐待予防 =	
[リーダー] 澤田 敬 (認定NPO法人 カンガルーの会) [サブリーダー] 新津 直樹 (新津小児科医院) 松原 徹 (城東こどもクリニック&病児保育室「小鳥の森」) 赤平 幸子 (城東こどもクリニック&病児保育室「小鳥の森」) 藤田 一郎 (福岡女学院大学人間関係学部こども発達学科)			
昨年は初回だったため、「解釈(本人が納得できるように混乱した心の整理をする。トラウマの整理)が大切であるが、どのように上手な解釈をしても、信頼関係がない場合はほとんど効果が無い」こと、「解釈が十分にできなくても、優しさ、真心、熱意、信頼 {間主観性(心の響きあい)、情緒応答性(情緒の動きに応える)、holding(ほっとした雰囲気包み込む)} で、混乱した母は自ら辛かったことを話だし、自ら心の整理をし、母の混乱した心が落ち着き、虐待予防ができる」との講演と、間主観性、情緒応答性、holding で落ち着き、虐待を防げた3事例を紹介したので、ディスカッションの時間が取れなかった。出席者39名中、講演内容、発表症例内容は良く分かった94%、気になる親子に「なんとかしなくては・・・」と思っ接しているといつの間にか良くなったという症例経験がある64%、虐待は予防できると思う94%、今回のWS内容は臨床現場で生かせると思う91%、来年同様のWSが開催されれば参加したい89%だった。主な感想では「毎日の、スタッフ全員の、一つ一つの関りを大事にし、うちのクリニックでも取り組んでゆきたい」と言う内容の意見が多かった。「事務職員まで含めて、病院スタッフ全員の、ちょっとした声掛けで、予防できる虐待が多くあることが分かった。」「スタッフの真心で、こんなに変わるものかと驚いた。」今回は一事例について、グループ別に参加者の自験例も含めて話し合い、虐待予防の実際を学びたい。			
WS のタイプ	研修型	対象	
定員	50 名	制限なし	
1 施設からの定員	制限なし		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

WS1P-17		「小児生活習慣病検診の全国調査」 ～どこでどのような検診が行われているかを皆でまとめよう～	
[リーダー] 青木 真智子 (青木内科循環器科小児科クリニック) [サブリーダー] 黒川 美知子 (くろかわみちこ小児科クリニック)			
[趣旨] 全国で小児生活習慣病検診が行われているが、その実態については明らかでない。小児生活習慣病検診は、学校保健安全法に検診項目として入っていないため、各地域がそれぞれ苦労しながら検診を行っている。そのため検診に地域格差がある。心臓検診が各地での普及の後、全国展開したように、小児生活習慣病検診が全国で行われることは、動脈硬化予防であり、しいては日本の先制医療となる。また家族で健康を見直す良い機会になる。本学会において、この仕事に携わっておられる方々の現場でのご意見をお聞きし、全国の実態を明らかにし、その問題点を皆様と共に考えたい。			
[方法] ①小児生活習慣病検診に携わっている学会員にアンケートをする。(各地域の代表者に尋ねる) ②検診の主催者は誰か。③費用はどこが負担しているのか? ④検診の対象者および参加率は? ⑤検診の診断基準は何か? ⑥小児生活習慣病の合併症について⑦検診後のフォローはどうなっているのか? ⑧医療機関以外との連携について⑨小児生活習慣病検診の効果についてなどを問いたい。			
[結果] ワークショップ内で、それぞれの地域・団体の特徴を発表していただき、検診のやり方、効果についてまとめ、学会誌等で発表したい。			
WS のタイプ	問題解決型	対象	
定員	30名	医師、保健師、看護師、 養護教諭、栄養士、	
1施設からの定員	2名		
当日参加	不可		
参加費	無料		

WS1P-18		あなたも「いのちの授業」(PUSH講座)を開いてみませんか? ～園や学校で、職場や地域で～	
[リーダー] 藤川 順子 (医療法人 ふじかわ小児科) [サブリーダー] 古家 信介 (大阪市立総合医療センター)			
PUSH 講座とは、胸骨圧迫だけの「誰でもできる心肺蘇生と AED の使い方」をアニメ DVD を観ながら短時間 (45 分) で楽しく効率よく学べる講座です。昨年に続き 2 回目の開催になります。WS の前半で、実際に PUSH 講座を受講体験します。そして後半では、参加者自身が地域の園や学校で PUSH 講座を開けるように、講座の開き方やノウハウをディスカッションを交えて楽しく学びます。目の前で人が倒れたら…、心臓が止まってしまったら…、一刻も早く胸骨圧迫を開始し AED で電気ショックをおこなう必要があります。学校での突然死やスポーツ現場での突然死も報告されており、第一発見者となる児童・生徒・一般市民への心肺蘇生教育が課題となっています。その必要性は認識していても、教育現場での普及がなかなか進みません。原因は 3 時間という長い講習時間や、一般の方にとっては難しく、心理的抵抗の大きい人工呼吸、指導者の不足などがあげられます。昨年の WS では、PUSH 講座を実際に体験することで、それらの問題をクリアし、楽しく学べることを実感していただきました。この WS に参加された方々が、それぞれの地域で PUSH 講座を開催することは、心肺蘇生の体系的な普及につながるだけでなく、子ども達に「いのちを大切に作る心」や互助の精神の重要性を感じてもらい貴重な機会となるでしょう。子どもの時期から繰り返し救命法を学び、成長して社会に出てからも役に立つ有用なスキルを身に着けていることは、子ども達の自己肯定感、有用感の醸成にも役立ちます。この WS に参加後は各自が工夫して PUSH 講座を開催できますが、さらに全国にある「PUSH プロジェクト」で指導者養成講習会を受講することで認定インストラクターを取得することもできます。			
WS のタイプ	研修型	対象	
定員	40名	制限なし	
1施設からの定員	2名		
当日参加	不可		
参加費	無料		



9月1日(日) 13:00～15:30

A-4-3

WS1P-19		子どもの心のサインを読みとる・・・ ロバートソンフィルムを教材にして・・・その4	
[リーダー]	松原 徹	(城東こどもクリニック)	
[サブリーダー]	澤田 敬	(カンガルーの会)	
	新津 直樹	(新津小児科)	
	藤田 一郎	(福岡女学院大学人間関係学部子ども発達学科)	
	赤平 幸子	(城東こどもクリニック)	
<p>ロバートソンフィルムとは愛着理論を確立したボウルビィの弟子であるロバートソン夫妻によって1950年代にイギリスで撮影された子どもの発達心理行動の研究のためのフィルムです。そこには2歳前後の子ども達が母親と分離され「自分に何が起きているのか分からない」戸惑いと不安が克明に記録されています。このWSも今回で4回目になります。今回は「Kate」を視聴します。Kateは2歳5か月の女兒です。父親はKateを厳格に育てていました。母親は父親よりは優しく接していたようです。母親の次子の出産のためにKateはこれまで視聴したLucyやJaneと同じように里親家庭のロバートソン家に預けられました。里親の元でKateは手厚いケアを受けて過ごします。しかし母親の出産に合併症があったため、予定より長く27日間預けられました。母親の退院までにKateは2回病院で面会します。その時のKateの様子は・・・？ その4週間という時間の中で2歳の子どもの気持ちはどのように動くのでしょうか。このフィルムは比較的長期に母子分離された子どもの心の変化を観察できる良いフィルムです。これまでと同様、まず最初にフィルムを視聴し、その後幾つかのグループに分かれ、子ども達の仕草や表情から参加者それぞれが読み取った子ども達の心理状態や感じたことを話し合います。そして愛着にまつわる病理を理解し、日常の診療や保育、育児支援に大切な心のサインを一緒に再確認しましょう。</p>			
WSのタイプ	研修型	対象	
定員	40名	制限なし	
1施設からの定員	2名		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

9月1日(日) 13:00～15:30

A-4-5

WS1P-20		乳児の鉄欠乏 鉄の補充は必要か	
[リーダー]	伊藤 純子	(虎の門病院 小児科)	
[サブリーダー]	富本 和彦	(とみもと小児科)	
<p>診療ガイドライン検討会主催の、EBMに基づく論文抄読会です。今回は乳児の鉄欠乏を取り上げました。母乳栄養時は鉄欠乏に陥りやすく、貧血も多いですが、それに対して鉄を補充した場合の長期予後について、興味深い論文がいくつか出ています。単純に補充すれば良いという話ではないということが理解でき、これからどのような研究につながればよいか考えさせられる抄読会になると思います。</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
定員	30名	制限なし	
1施設からの定員	制限なし		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

WS1P-21		子どもの貧困に気づき支援するために part4	
[リーダー]	和田 浩	(健和会病院小児科)	
[サブリーダー]	武内 一	(佛教大学社会福祉学部)	
	佐藤 洋一	(生協こども診療所)	
	山口 英里	(千鳥橋病院小児科)	
	山口 有紗	(国立成育医療研究センター)	
<p>子どもの貧困について医療者の中でも関心が高まっていますが、「医療現場で気づくことはできるのか?」「医療者には何ができるのか?」といった疑問・悩みを持っている方も多いと思います。こうした点について、様々な取り組みが行われ、実践が蓄積されています。このワークショップでは、主に「初心者」の方を対象に、レクチャ・事例検討・グループワークを通じて、現場で気づき支援するための「次の一歩」がつかめるようにしたいと思います。(このワークショップは2010年に問題解決型WS「子どもの貧困を考える」として始まり、その取り組みを通じて、ある程度「どう気づき、どう支援するか」が見えてきました。そこで2016年からは「主に初心者向けの入門的な研修型WS」として行ってきました。もちろん「初心者」でない方の参加も大歓迎です)</p>			
WSのタイプ	研修型	対象	
定員	40名	制限なし	
1施設からの定員	制限なし		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

WS1P-22		地域医療の中での小児科医の役割	
[リーダー]	松浦 伸郎	(松浦診療所)	
[サブリーダー]	川島 崇	(川島内科クリニック)	
<p>WSでは地域の小児医療は地域差が大きく、しかし大都市でさえ、小児科医の業務が小児科単独では賅い切れていないことが示唆されている。一方で少子高齢化は急速であり、小児科単科が成立しない地域も増加している。このような社会環境の中で、小児医療の現場ではどのように地域連携をしていけばいいのか、どうすれば小児科が成立していくのか、小児医療が地域で連携発展できるのか考えてみたい。学校や保健所などの公的機関との連携や、急病時の対応、他科との診察連携。病診連携など様々な連携が必要である。今後は内科や総合診療科とのすみわけや地域に根差した子育て支援体制をどのような形で支援すれば報酬につながり、小児科医としてその社会的役割を果たしていけるかさらに検討していきたい。</p>			
WSのタイプ	問題解決型	対象	
定員	20名	医師	
1施設からの定員	制限なし		
当日参加	空きがあれば可		
参加費	無料		

WS1P-23		老若男女 みんなで乳児健診について論じ合ってみませんか
[リーダー]	原 朋邦 (はらこどもクリニック)	
[サブリーダー]	鈴木 英太郎 (鈴木小児科医院)	
	川上 一恵 (かずえこどもクリニック)	
	児玉 和彦 (こだま小児科)	
	中村 裕子 (埼玉県立小児医療センター)	
	一ノ瀬 英史 (いちのせファミリークリニック)	
<p>行政が実施する乳幼児健診については種々の書籍や資料が豊富にあります。小児科医は ER のような急を要する場においても当該患者の成長・発達を評価し、養育者のリテラシー、ヘルスリテラシーを評価しつつ疾病の内容、治療計画、看護介助の指導、再受診の目安などを説明・指導します。小児科医がどのような視点で子どものヘルスケアに当たるかは行政の示すガイドラインとはまた異なった視点があると考えますし、むかしは健診マインドを診療に活かすか否かで診療の質も大きく変わります。最も参考に出来るのは米国小児科学会の Bright Futures4 版がありますが、医療・ヘルスケアは文化ですから、そのまま持ち込むのは不可能です。関わる人の世代、性差の文化の違いを意識しつつ、小児科医の行う乳児健診について論じ合い、質の高い乳児健診の在り方を模索してみようではありませんか。原はファシリテーター役を専ら行い、鈴木、川上、一ノ瀬、中村にプレゼンテーションをしてもらった後、それを受けた形で、小グループに分かれて、サブリーダーが各グループのリーダーとして討論を行い、まとめるという方法をとりたいと考えています。乳幼児健診とせず乳児としたこと、月齢を定めていないこと、行政が行う健診には囚われていないことが今回の企画の特徴と言えるかと考えます。事前に、参加者にはアンケート調査と資料を作成して配布します。出来ればメールで討論できればと考えています。</p>		
WS のタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象
定員	40 名	基本的に小児科医、 ナースの参加希望を排除しない。
1 施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	500 円	

WS1P-24		後継者がいない開業医(医院・診療所・クリニック)の継承問題
[リーダー]	村上 直樹 (医療法人あゆみ会村上こどもクリニック)	
[サブリーダー]	崎山 弘 (崎山小児科)	
	太田 文夫 (おおた小児科)	
	中瀬 正治 (中瀬小児科)	
	佐々木 洋 (佐々木歯科)	
<p>2013年の本学会学術集会におけるWS、「森住期(五木寛之著)に人生の特等席を得るために」では、約30名の会員の参加を得て、非常に活発な発言・質疑・応答が行われた。しかし、このWS終了後の感想からは、後継者がいれば比較的余裕と安心を持って隠遁生活を迎えられるが、後継者がいない場合には閉院・譲渡・売却など多岐にわたる多くの問題が山積していることが考えられる。そこで今回は、後継者がいない開業医に限定して、急病または急死による突然の廃院、重病・メンタルな疾病のための入院による長期休院、継承者による医療機関の存続、継承後の問題発生のための再開院について、30名以内の会員または院長夫人のみの参加に限定し、深みのあるWSを展開したい。問題解決には、どのようなことが具体的に必要なのかを整理し、参加メンバーの現状と対策を皆さんに発言していただく予定である。1). 継承時の職員対策; 2). 売却・譲渡時の金銭問題; 3). 院長の退職金と老後資金; 4). 継承者との関係につき; 5). 継承不調時の解決策; ※ いわゆる継承コンサルタントなど民間企業の意見を聞くのではなく、自分たちの現状に即した現実的な対応・解決策を模索してゆきたい。*** 本WSは、非常に個人的内容を多く含み、かつ微妙な人間関係の機微を左右する場合があるので参加会員の発表は強く希望する方を除き、口頭での発表に限る予定である。メールのやり取りや録音など記録は残さない。具体的には、最初に1)・2)・3)について、私のクリニックで25年以上の付き合いがある木場安弘氏(ファイナンシャルプランナー/金融保険アドバイザー)に概説的講演をいただき、その後参加者各人のお話を3分以内で発表いただきます。最後に木場安弘氏の助言を交えながら質疑応答・総合討論で各人の考えをおまとめ頂く予定です。</p>		
WS のタイプ	問題解決型	対象
定員	30 名	開業医(院長・理事長)と その配偶者
1 施設からの定員	2 名	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	1,000 円	

7. 一般演題募集

一般演題は、演者または共同演者のうち少なくとも一人は、日本外来小児科学会の会員であることが必要です。また、演題の演者は、会員または会員が主催する施設のスタッフに限られます。

申込期間

2019年4月15日(月)～5月19日(日)

一般演題の発表形式は原則として口演(PC形式)とポスター発表の両方といたします。

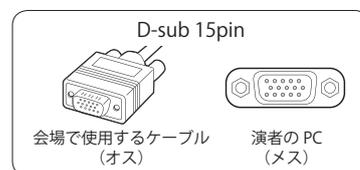
口演のすべてを聞くことはできないため、ポスターを展示して口演内容をいつでも見ることができるようになっています。ただし、口演時間枠には限りがありますので、応募演題が多数の場合にはポスター発表のみをお願いする場合があります。また、ポスター発表のみを希望される場合には応募時にお申し出ください。日常診療における取組みや現在進行形の研究に関する演題も大歓迎です。

ご発表頂いた一般演題の中から、優秀演題が選出されます。会長・実行委員で構成する選考委員会で審査し、「最優秀賞」を閉会式にて表彰いたします。

■発表形式

1. 口演発表

- ・口演は発表6分、質疑3分の予定です。
- ・口演に使用する機器はPCプロジェクター1基とさせていただきます。
- ・事務局が用意するパソコンOSはWindows版、発表用ソフトはマイクロソフト社製パワーポイント(PPT)2010・2013・2016です。動画を使用する場合はWindows Media Player(Ver.10以上)で再生されるファイルをご使用になり、ご自身のノートパソコンをお持ちください。なお、音声についてもご利用頂けますので、当日PC受付にお申し出ください。
- ・Macintoshを使用される場合にはご自身のパソコンとACアダプターをお持ちになり、D-sub 15pinの端子で接続できるようにご準備ください。
- ・ご発表のデータは相互のウイルス感染を防ぐため、できる限りCD-R(CD-RW、DVDは不可)でお持ちください。USBメモリーでお持ちになる場合には、セキュリティ管理に十分な配慮をお願いいたします。いずれの場合も念のためにバックアップデータをご用意ください。
- ・口演日時(予定、全体プログラム構成の都合上、変動する事もございます。)
8月31日(土)9:00～11:30
(WSリーダー等をされる方は予定日時などを明記してください)
- ・色覚異常者のためのバリアフリープレゼンテーションについて
学会参加者の中には色覚に異常を持った方がいらっしゃいます。スライド作成の時にご注意ください。具体的には、分かりやすい文字と背景の組み合わせを選び、特に黒バックに濃い赤字はお避けください。色は3色程度までに抑えてください。
- ・グラフは塗りつぶしパターンを変えるなど白黒印刷でも判断できる図表にしてください。



発表内容の撮影を禁止します。

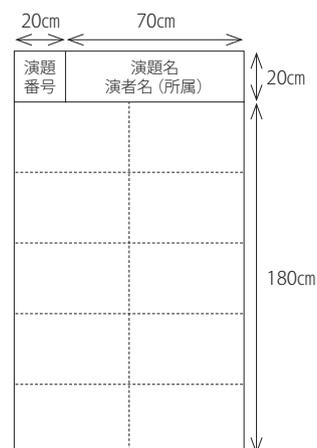
2. ポスター発表

■展示サイズ

展示には縦210cm、横90cmのパネルをご用意いたします。

上部縦20cm、横70cmには演題名、発表者名、所属を掲示してください。

発表内容は縦180cm、横90cm内に、要旨、目的、結果、考察、結語の順で収まるように掲示してください。図、表を含めスペース：A3用紙10枚程度にお願いいたします。演題番号表示とプッシュピンは事務局で用意いたします。



■ポスター展示

- ・ 貼 付：8月31日(土)9:00～12:00
- ・ 展示場所：福岡国際会議場 5Fロビー
- ・ 展示期間：8月31日(土)9:00～17:30
9月1日(日)9:00～14:00
- ・ プロミスタイム：8月31日(土)17:30～18:00

※有志の方のみの発表でかまいません。

- ・ 撤 去：9月1日(日)14:00～15:00

※15:00以降になっても撤去されない場合は事務局にて撤去させていただきます。

■申込方法

- ・ 一般演題は原則として年次集会ウェブサイト
<http://www.sagpj29.com>からのオンライン登録によって受付いたします。

■採否等の連絡

- ・ 演題の採否、発表形式、発表日時等につきましては実行委員会にご一任ください。
- ・ なお採否に関する実行委員会へのお問合せはご遠慮ください。
- ・ 採否につきましては6月末までにご連絡いたします。

【プロミスタイムのお願い】

口演時間内では、十分な討論が尽くせないと思いますので、演者と質問者が直接会える機会を設けます。8月31日(土)17:30より、可能な演者は、ご自身のポスターのそばで、質問をお受けください。ただし、学会中は様々な予定があるでしょうから、可能な方のみで結構です。質問したい方は、この時間にポスターのところに行ってみてください。発表者と会えるかもしれません。19:00からは懇親会が始まります。遅れないように移動してください。



発表者が撮影許可マークを貼った内容に関してのみ、撮影を許可します。

■演題発表時における利益相反 (COI) の開示について

第29回年次集会では2011年2月に日本医学会が公表した「医学研究のCOIマネジメントに関するガイドライン」に則して、口演およびポスター発表における演題登録の際、利益相反の開示すべき項目の有無について申告いただくことになりました。ご理解の上、よろしくお願いいたします。

第29回日本外来小児科学会年次集会 COI開示 筆頭演者氏名：○○○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、 ⑥委託研究・共同研究費：○○製薬 ⑦奨学寄付金：○○製薬 ⑧寄付講座所属：あり ○○製薬
--

↑開示すべき内容がある項目のみ記載

- ①顧問 ②株保有・利益 ③特許使用料 ④講演料 ⑤原稿料 ⑥委託研究・共同研究費
⑦奨学寄附金 ⑧寄付講座所属 ⑨贈答品などの報酬

■利益相反の開示すべき項目 (日本小児科学会2017年7月30日から施行に準ずる)

COI自己申告を必要とする基準は、以下各号で規定する。ただし、以下各号の年間とは4月1日から3月31日までとする。また、年度内途中での申告基準額は、以下各号に規定する年間基準額とする。ただし、申告時以降、追加の活動があり、年間基準額以上となった場合は、第2条第1項に従い申告しなければならない。

- ①医学的研究に関連する企業・法人組織や営利を目的とした団体 (以下、「企業・組織や団体」という) の役員、顧問職については、一つの企業・組織や団体からの報酬額が年間100万円以上とする。
- ②株式の保有については、一つの企業についての一年間の株式による利益 (配当、売却益の総和) が100万円以上の場合、あるいは当該全株式の5%以上を所有する場合とする。
- ③企業・組織や団体からの知的財産権の対価として受ける使用料、譲渡額等については、当該対象者が受ける1件あたり年間100万円以上とする。
- ④企業・組織や団体から、会議の出席 (発表) に対し、拘束した時間・労力に対して支払われた日当 (講演料等) については、一つの企業・団体からの年間の講演料等が合計50万円以上とする。
- ⑤企業・組織や団体がパンフレット、座談会記事等の執筆に対して支払った原稿料等については、一つの企業・組織や団体からの年間の原稿料等が合計50万円以上とする。
- ⑥企業・組織や団体が提供する研究費については、医学系研究 (治験、受託研究費、共同研究費等) に対して一つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する部局 (講座・分野) あるいは申告者が長となっている部局に割り当てられた総額が年間100万円以上とする。
- ⑦企業・組織や団体が提供する奨学 (奨励) 寄附金については、一つの企業・組織や団体から、申告者個人または申告者が所属する部局 (講座・分野) あるいは申告者が長となっている部局に割り当てられた総額が年間100万円以上の場合とする。
- ⑧企業・組織や団体が提供する寄附講座に申告者が所属している場合とする。
- ⑨研究と直接無関係な旅行・贈答品等の提供については、一つの企業・組織や団体から受けた総額が年間5万円相当以上とする。
- ⑩企業・組織や団体から共同研究等の契約なく役務の提供を受けた場合とする。

■個人情報保護等に関する発表上の注意

本年次集会での発表にあたっては適切な倫理的配慮を行ってください。特に個人情報保護の観点から、その発表内容には患者やその他の関係者が特定出来る情報は表示しないようお願いいたします。なお、患者の顔写真等を使用する場合は本人もしくは保護者の同意が得られているものとします。

8. パネル展示募集

募集期間

2019年4月15日(月)～5月24日(金)

1. 院内報(誌)の展示

各医療機関で発行している院内報をそのまま展示してください。

2. 医療保育ネットワーク等の展示

外来診療の場での、保育士他のみなさんのご活躍をご紹介ください。

■発表形式

1. ポスター、写真、印刷物は210cm×90cmのパネルに貼付してください。
2. 本や診療の小道具、おもちゃの展示はパネル前に幅180cm×奥行60cm×高さ70cmの机を設置することで可能となります。但し、使用幅はパネル幅と同様幅90cmで、1本の机を2者で共有使用とさせていただきます。
3. 展示番号とプッシュピンは事務局で用意いたします。

■展示場所と時間

展示場所：福岡国際会議場 2Fロビー

貼付：8月31日(土) 9:00～12:00

展示期間：8月31日(土) 12:00～17:00、9月1日(日) 9:00～15:00

■応募方法

- ◎ パネル展示は年次集会ウェブサイト (<http://www.sagpj29.com>) から申込書をダウンロードして、E-mail(sagpj29@stworld.jp) でお申し込みください。
- ◎ ご発表の内容が企業の協力を得ている、ないしは共同研究に該当する場合には、申し込みの際に必ずお申し出ください。

第29回日本外来小児科学会年次集会運営事務局

(株)エス・ティー・ワールド コンベンション事業部内

〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-30 天神西通りビジネスセンター 6F

E-mail : sagpj29@stworld.jp 営業時間：平日10:00～18:30(土日祝休)

■採否等の連絡

- ・ パネル展示の採否については運営委員会にご一任ください。
- ・ 応募数が規定数を超えたときはお断りすることもあります。
- ・ 展示物の搬入・搬出の時間・方法につきましては、展示決定通知の際にご案内いたします。7月5日(金)までにご案内する予定です。
- ・ 展示期間中の展示物の損傷や紛失などに関しましては実行委員会では責任を負いかねます。展示期間中の展示物の保管が必要な場合は、各自でお願いいたします。

9. 患者家族の会・支援者の会展示募集

募集期間

2019年4月15日(月)～5月24日(金)

■展示形式、参加に際してのお願いなど

1. ポスター、写真、印刷物などは、実行委員会で用意する縦210cm×横180cmのパネルに貼付してください。
2. 会の紹介パンフレット・書籍・カンパグッズなどは、パネル展示前の机を1卓用意しますので、ご利用ください。
3. カンパ及び署名集めは、会の各ブースでお願いいたします。資料配布などは、実行委員会に確認の上、通行等の妨げにならない範囲でお願いいたします。

■展示日時など

展示物搬入：8月30日(金) 17:00～20:00(予定)

展示場所：福岡国際会議場 5Fロビー

展示期間：8月31日(土) 9:00～17:00(予定)

9月1日(日) 9:00～14:00(予定)

※9月1日(日) 15:00以降になっても撤去されない場合は、事務局で処分いたします。

■応募方法

◎ 患者家族の会・支援者の会展示は年次集会ウェブサイト (<http://www.sagpj29.com>) から申込書をダウンロードして、E-mail(sagpj29@stworld.jp) でお申し込みください。

第29回日本外来小児科学会年次集会運営事務局

(株)エス・ティー・ワールド コンベンション事業部内

〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-30 天神西通りビジネスセンター 6F

E-mail: sagpj29@stworld.jp 営業時間：平日 10:00～18:30(土日祝休)

■採否等の連絡

- ・ 応募が規定数を超えた場合は、お断りすることがあります。
- ・ 採否は、実行委員会にご一任ください。慎重に検討の上、2019年6月下旬までに採否と割当をご連絡いたします。
- ・ 展示期間中の展示物の損傷や紛失などに関して、大会事務局で責任を負いかねます。展示物の保管が必要な場合は、各自でお願いいたします。

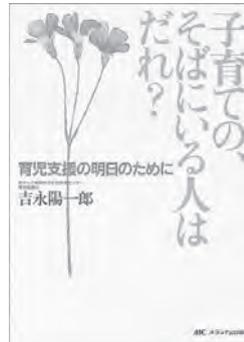
10. 各種講演

【会頭講演】

8月31日(土) 14:20～15:00 福岡国際会議場3F A-3-1

子育ての、そばにいる人はだれ？

吉永 陽一郎(吉永小児科医院)



【会頭招聘講演】

8月31日(土) 15:00～16:30 福岡国際会議場3F A-3-1

今右衛門の色鍋島の伝統

十四代 今泉今右衛門(佐賀県陶芸協会)

【略歴】

- 1962(昭和37)年 佐賀県西松浦郡有田町に生まれる。
- 1985(昭和60)年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科(金工専攻)卒業
- 1988(昭和63)年 陶芸家・鈴木治氏に師事
- 1990(平成2)年 父・十三代 今右衛門の許、家業に従事
- 1998(平成10)年 日本伝統工芸展 日本工芸会会長賞を受賞し、正会員に推挙される
- 2002(平成14)年 十四代 今泉今右衛門を襲名
- 2004(平成16)年 日本伝統工芸展 東京都知事賞受賞
- 2008(平成20)年 MOA 岡田茂吉賞受賞 工芸部門優秀賞受賞
- 2009(平成21)年 紫綬褒章受章
- 2012(平成24)年 日本工芸会西部支部の幹事長に推挙される
- 2014(平成26)年 重要無形文化財「色絵磁器」の保持者に認定
- 2017(平成29)年 仏、バカラ社との共同制作「Baccarat meets IMAEMON」を発表
- 2018(平成30)年 佐賀県陶芸協会会長に就任



※8月31日(土) 9:00～17:00に会場入口にて作品の展示を行いません。

【会頭指定講演 1】

8月31日(土) 13:50～14:20 福岡国際会議場 3F A-3-1

医療政策を取りまく今日的課題

講師：自見 はなこ(参議院議員)

【略 歴】

1976(昭和51)年 2月15日生長崎県佐世保市生まれ
福岡県北九州市育ち
1991(平成3)年 明治学園中学校卒業
1994(平成6)年 Brookline High School, MA, USA 卒業
1998(平成10)年 筑波大学第三学群国際関係学類 卒業
2004(平成16)年 東海大学医学部医学科 卒業
東海大学医学部付属病院 初期研修
2006(平成18)年 池上総合病院 内科後期研修
2007(平成19)年 東京大学医学部小児科学教室入室
同附属病院小児科勤務
2008(平成20)年 東京都青梅市立総合病院小児科勤務
2009(平成21)年 虎の門病院小児科勤務
2010(平成22)年 国会議員秘書
2015(平成27)年 自民党参議院比例区(全国区)支部長
日本医師会男女共同参画委員会委員
日本医師連盟参与
日本小児科医連盟参与
2016(平成28)年 参議院議員選挙比例代表(全国区)当選(210,562票)
東海大学医学部医学科客員准教授



【資 格】

医師免許
日本内科学会認定内科医
日本小児科学会認定小児科専門医
国会議員政策担当秘書資格

【賞 罰】

2011年2月消防総監感謝状(人命救助)

【現 職】

参議院

参議院厚生労働委員会委員 理事
参議院災害特別対策特別委員会
議院運営委員会委員 国民生活・経済に関する調査会

自民党

女性局 局長代理
報道局 次長
厚生労働部会 副部長
IT戦略特別委員会 幹事
青年局 学生部副部長
厚生関係団体委員会 副委員長
サイバーセキュリティー対策本部 幹事
障害児者問題調査会 幹事

主な加入議連

臓器移植を考える議員連盟(幹事)
旧優生保護法下における強制不妊手術を考える議員連盟(幹事)
女性医療職エンパワメント推進議員連盟(事務局長)
骨髄・さい帯血バンク議員連盟(事務局長)
世界保健機関(WHO)議員連盟(事務局長)
医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟(事務局長)
成育医療等基本法成立に向けた議員連盟(事務局長)
臨床工学技士の資質向上を求める議員連盟(事務局長)

【会頭指定講演2】

9月1日(日) 14:20～15:20 福岡国際会議場3F A-3-1

日本医師会の医療政策

講師：横倉 義武(公益社団法人 日本医師会)

【学 歴】

1969(昭和44)年 3月 久留米大学医学部 卒業

【経 歴】

1969(昭和44)年 4月 久留米大学医学部第2外科助手

1977(昭和52)年 9月 久留米大学 医学博士号取得

1977(昭和52)年 10月 西ドイツ ミュンスター大学教育病院
デトモルト病院外科

1980(昭和55)年 1月 久留米大学医学部講師

1990(平成 2)年 4月 医療法人弘恵会ヨコクラ病院院長

1990(平成 2)年 4月 福岡県医師会理事

2006(平成18)年 5月 福岡県医師会会長

2010(平成22)年 4月1日 日本医師会副会長

2012(平成24)年 4月1日 日本医師会会長 (至現在)

2013(平成25)年 4月 久留米大学医学部 客員教授 (至現在)

2017(平成29)年 10月 世界医師会 会長



【特別講演 1】

9月1日(日) 9:50～10:40 福岡国際会議場 4F A-4-9

エピゲノムから DOHaD 説を科学する (仮題)

講師：中尾 光善 (熊本大学発生医学研究所細胞医学分野)

【特別講演 2】

9月1日(日) 9:00～9:50 福岡国際会議場 4F A-4-13

つながり症候群の時代 ー流動化する人間関係の光と影ー

講師：土井 隆義 (筑波大学人文社会系)

【教育講演 1】

8月31日(土) 9:00～9:50 福岡国際会議場 5F A-5-2

**臓器ダメージを極限まで抑えた内視鏡外科手術
ー人生 100 年時代の小児外科の理想を目指してー**

講師：家入 里志 (鹿児島大学学術研究院 医歯学域医学系 小児外科学分野)

【教育講演 2】

8月31日(土) 9:50～10:40 福岡国際会議場 5F A-5-2

小児科外来で疑う免疫不全症

講師：大賀 正一 (九州大学大学院医学研究院 成長発達医学分野(小児科))

【教育講演 3】

8月31日(土) 10:40～11:30 福岡国際会議場 5F A-5-2

プライマリの現場に求められるトランジション医療

講師：窪田 満 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 総合診療部)

【教育講演 4】

8月31日(土) 16:30～17:30 福岡国際会議場 3F A-3-1

外来での発達障害児と家族の支援 (仮題)

講師：山下 裕史朗 (久留米大学医学部小児科学講座)

【教育講演5】

8月31日(土) 15:50～16:40 福岡国際会議場4F A-4-13

HPVワクチンの積極的勧奨一時中止と今後の課題

講師：八木 麻未 (大阪大学大学院医学系研究科 産科学産婦人科学)

【教育講演6】

8月31日(土) 16:40～17:40 福岡国際会議場4F A-4-13

小児科外来におけるAMR対策 現状と課題

講師：石和田 稔彦 (千葉大学真菌医学研究センター 感染症制御分野)

【教育講演7】

8月31日(土) 15:00～15:50 福岡国際会議場5F A-5-2

小児緩和ケア概論 一かかりつけ小児科医の関わりも含めて

講師：永山 淳 (国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和医療内科)

【教育講演8】

9月1日(日) 9:00～9:50 福岡国際会議場4F A-4-9

無限に広がる小児領域における漢方治療

講師：八木 実 (久留米大学病院、久留米大学医学部外科学講座小児外科部門)

【教育講演9】

9月1日(日) 10:40～11:30 福岡国際会議場4F A-4-9

**小児科医にしかできない2型糖尿病重症化予防について
～子どものころの食事が大人になってどう影響するか～**

講師：赤司 朋之 (医療法人社団シマダ 嶋田病院 内科、佐賀大学)

【教育講演10】

9月1日(日) 9:00～9:50 福岡国際会議場4F A-4-11

少数派の子ども達の発達支援 ～15分間の外来で希望をもたせる戦略を考える～

講師：長田 陽一 (柳川療育センター 発達支援センター、国際医療福祉大学 神経発達症研究センター)

【教育講演 11】

9月1日(日) 9:50～10:40 福岡国際会議場 4F A-4-11

発達障害の地域連携 ～忙しい外来と専門医をつなぐ～

講師：市河 茂樹 (安房地域医療センター 小児科)

【教育講演 12】

9月1日(日) 9:50～10:40 福岡国際会議場 4F A-4-13

小児の睡眠時無呼吸 ～私たちが知っておくべきこと・やるべきこと～

講師：原 浩貴 (川崎医科大学 耳鼻咽喉科学)

【教育講演 13】

9月1日(日) 10:40～11:30 福岡国際会議場 4F A-4-13

インフルエンザワクチンの有効性に関する最近の話題

講師：廣田 良夫 (保健医療経営大学)

【教育講演 14】

9月1日(日) 10:30～11:30 福岡国際会議場 5F A-5-1

思春期の親子のかかりつけ医制度を目指して

講師：永光 信一郎 (久留米大学医学部小児科学講座)

【教育講演 15】

9月1日(日) 9:00～9:50 福岡国際会議場 5F A-5-2

**子育て世代包括支援事業における多職種連携について
名張版ネウボラ事業を中心に**

講師：稲持 英樹 (なばりこどもクリニック)

【教育講演 16】

9月1日(日) 9:50～10:40 福岡国際会議場 5F A-5-2

小児渡航外来のススメ

講師：後藤 憲志 (久留米大学医学部 感染制御学講座 小児科学講座)

【教育講演 17】

9月1日(日) 10:40～11:30 福岡国際会議場5F A-5-2

わかりやすい不妊治療

講師：蔵本 武志 (医療法人蔵本ウイメンズクリニック)

【教育講演 18】

9月1日(日) 13:10～14:10 福岡国際会議場3F A-3-1

外来診療と最近のレセプト審査

講師：高木 誠一郎 (社会保険診療報酬支払基金福岡支部)

【招待講演 1】

8月31日(土) 15:00～15:50 福岡国際会議場4F A-4-9

外来看護とチーム医療

講師：益守 かづき (久留米大学医学部看護学科)

【招待講演 2】

8月31日(土) 15:50～16:40 福岡国際会議場4F A-4-9

子どもと家族のプリパレーション ～外来でこどもの”こころの準備”を支えるために～

講師：田中 美樹 (福岡県立大学看護学部)

【招待講演 3】

8月31日(土) 15:00～15:50 福岡国際会議場4F A-4-13

ニュートレンド：子育てを支える母乳育児支援

講師：井村 真澄 (日本赤十字看護大学母性看護学 大学院国際保健助産学)

【招待講演 4】

9月1日(日) 9:00～10:00 福岡国際会議場5F A-5-1

「SOS子どもの村JAPAN」の現状と課題

講師：福重 淳一郎 (特定非営利活動法人「SOS子どもの村JAPAN」)

11. シンポジウム

【シンポジウム 1】

8月31日(土) 9:00～11:30 福岡国際会議場5F A-5-1

家族の物語をつむぐ親子のための健康手帳

座長：中村 安秀 (甲南女子大学教授・大阪大学)

井上 登生 (医療法人井上小児科医院)

世界に広がり、世界から学ぶ母子手帳：だれひとり取り残さないために

講師：中村 安秀 (甲南女子大学教授・大阪大学、国際母子手帳委員会)

ライフサポートブックもやいの挑戦：わたしだけの特別の母子手帳

講師：早川 成 (久留米天使こども園、筑後地区ノーマライゼーション研究会)

母子手帳アプリをめぐる物語：紙もデジタルも両方あるからいつも安心

講師：安西 正育 (ベビカム株式会社)

母子手帳と子育て支援：20年を綴る母子健康手帳の監修と大分県中津市での経験より

講師：井上 登生 (医療法人井上小児科医院)

【シンポジウム 2】

8月31日(土) 9:00～11:30 福岡サンパレスホテル2F B-2-1

外来で気になる子、その子育てにアドバイス

座長：藤田 一郎 (福岡女学院大学 人間関係学部子ども発達学科)

橋野 かの子 (橋野こどもクリニック)

子どもの心のSOSと前向き子育てアドバイス

講師：藤田 一郎 (福岡女学院大学 人間関係学部子ども発達学科)

赤ちゃんの時から始まる意見表明権

講師：重永 侑紀 (特定非営利法人にじいろCAP)

発達が気になる子ども ～外来でできる親子支援～

講師：木附 京子 (佐賀整肢学園こども発達医療センター)

【シンポジウム3】

8月31日(土) 15:00～17:30 福岡国際会議場2F A-2-3

口の働きを通じた成育支援 ーむし歯について再考するー

座長：濱野 良彦 (こどもの歯科)
落合 聡 (おちあい小児歯科医院)

むし歯の原因から成り立ちそして最近のトピック

講師：藤原 卓 (長崎大学医歯薬学総合研究科 小児歯科学分野)

子どもの日常生活とむし歯

講師：井上 美津子 (昭和大学歯学部 小児成育歯科学教室)

むし歯について、成育支援の視点から

講師：佐々木 洋 (UTAKA DENTAL OFFICE 佐々木歯科)

【シンポジウム4】

8月31日(土) 15:00～17:30 福岡国際会議場2F A-2-4

実践病児保育 その問題点を解明する

座長：大川 洋二 (大川子ども&内科クリニック)
谷村 聡 (たにむら小児科)

病児保育の運営

講師：全国病児保育協議会会長 大川 洋二 (大川子ども&内科クリニック)

感染防御の実際 室内感染報告例を参考に

講師：感染症対策委員会委員長 佐藤 勇 (よいこの小児科さとう)

事故防止：mimsの利用

講師：安全対策委員会委員長 米倉 順孝 (大名よねくら小児科クリニック)

広域ネットワーク

講師：調査研究委員会委員 吉田 雄司 (よしだ小児科医院)

【シンポジウム5】

8月31日(土) 16:40～18:00 福岡国際会議場4F A-4-9

Learning from the differences from Taiwan and Japan (教育検討委員会主催)

座長：森田 潤 (こどもクリニックもりた)

進藤 静生 (しんどう小児科医院)

Why were the introduction of vaccines(Hib,PCV,HBV,mumps etc.)so delay in Japan?

講師：Tai-Ju Wang (王 一休) (Department of Allergology, Sing Wish medical group)

National Health Insurance system in Taiwan (全民健康保険)

講師：Ching-Yang Liu (劉 錦揚) (Department of Pediatrics, Alison Maternal and Babies' Hospital)

【シンポジウム6】

8月31日(土) 15:00～17:30 福岡国際会議場4F A-4-11

知られていない子ども靴の問題 ～小児科で足を診て予防指導につなげませんか～ (日本靴医学会合同企画)

座長：太田 文夫 (おおた小児科医院)

吉村 眞由美 (早稲田大学人間科学学術院)

子どもの足の診方のポイントと靴の指導法

講師：内田 俊彦 (特定非営利活動法人(NPO) オーソティックスソサエティー)

小児科外来現場で足を診る・靴の指導をするために必要なこと、 学校医・園医としてできること、すべき事

講師：松田 隆 (まつだ小児科医院)

子どもの運動機能を育てる靴の教育と保護者へのアプローチ

講師：新山 裕之 (全国国公立幼稚園・こども園長会、港区立青南幼稚園)

靴メーカーから見た保護者による子ども靴選びの現状と課題

講師：古賀 稔健 (アサヒシューズ株式会社商品企画部)

【シンポジウム7】

8月31日(土) 15:00～17:30 福岡国際会議場5F A-5-1

救急医療・児童虐待から命を守る 一故市川光太郎先生企画一

座長：寺井 勝 (千葉市立海浜病院)
神薊 淳司 (北九州市立八幡病院小児救急センター)

勤務医と診療所医が協働する小児救急医療の現場から

講師：寺井 勝 (千葉市立海浜病院)

児童虐待を見抜く腹部外傷&皮膚損傷所見

講師：浮山 越史 (杏林大学小児外科)

毒物・薬物中毒・動物咬傷などと児童虐待例の鑑別

講師：有吉 孝一 (神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター)

その時なぜ虐待を疑わなくてはならないか？

虐待による頭部外傷と単純事故との違いについて

講師：荒木 尚 (埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター)

法医学における子どもの診断 ～小児科医療との連携～

講師：小谷 泰一 (京都大学大学院医学研究科 法医学講座)

【シンポジウム8】

9月1日(日) 9:00～11:30 福岡国際会議場3F A-3-1

食物アレルギー診療の現在、未来

座長：福岡 圭介 (福岡小児科アレルギー科)
真方 浩行 (まかたこどもアレルギークリニック)

(基調講演)

食物アレルギー up to date

講師：海老澤 元宏 (国立病院機構相模原病院臨床研究センター)

食物アレルギーの検査・診断(仮)

講師：手塚 純一郎 (福岡市立こども病院 アレルギー・呼吸器科)

食物アレルギーの栄養食事指導

講師：林 典子 (学校法人ソニー学園湘北短期大学生生活プロデュース学科)

エピペン適正使用の指導法

講師：岡部 貴裕 (おかべアレルギークリニック)

【シンポジウム9】

9月1日(日) 9:00～11:30 福岡サンパレスホテル2F B-2-1

総合診療医とのコラボレーション ～そのニーズはどこに～

座長：一ノ瀬 英史 (いちのせファミリークリニック)

森田 潤 (こどもクリニックもりた)

総合診療医とのコラボレーションは Win-Win or No-Deal?

講師：森田 潤 (こどもクリニックもりた)

総合診療専門医研修で求められる小児科研修とは? ～小児科医を納得させたい!～

講師：高村 昭輝 (日本プライマリ・ケア連合学会 小児医療・保健委員会)

総合診療医も小児医療のできる所からコツコツと ～乳幼児健診,小児在宅,移行期医療,など～

講師：一ノ瀬 英史 (いちのせファミリークリニック)

医療は子どもをもっと健やかにできる Health care can make healthy children healthier

講師：阪下 和美 (国立成育医療研究センター 総合診療科)



【会頭要望スペシャルオープンクリニック】

8月31日(土) 9:00～11:30 福岡国際会議場3F A-3-1

エキスパートに学ぶ、私の外来

座長：池澤 滋 (いけざわこどもクリニック)

松井 祐治 (松井小児科医院)

エキスパート：横田 俊一郎 (横田小児科医院)

原 朋邦 (はらこどもクリニック)

12. セミナー・SIG

【セミナー 1】

8月31日(土) 15:00～16:00 福岡サンパレスホテル2F B-2-1

主催：生涯学習委員会

自己学習プログラムセミナー

座長：森田 潤 (こどもクリニックもりた)

あなたの外来診療の質を向上させる「web版セルフアセスメントQ&A」

講師：松下 享 (松下こどもクリニック)

【要旨】

生涯学習委員会では、成人学習理論を取り入れた自己学習のためのweb版セルフアセスメントシステムを構築しました。PCやスマートフォンなどを使い、日常の外来診療能力にかかわる3つの要素(知識、技能、態度)についての設問に回答し、自らの立ち位置を知り、解説文を照らし合わせることによって「自分に足りないこと」「他のやり方や考え方があること」に気づき、自らの診療を振り返り、結果として診療の質を向上させる行動変容を引き起こすことを目標とします。また、会員同士が情報や意見交換できるメッセージルーム(医局機能)も設置しました。本セミナーは、参加者にこのシステムを会場で体験していただくことを目的に企画しました。

【セミナー 2】

8月31日(土) 15:00～17:30 福岡サンパレスホテル2F B-2-2

主催：医学生・若手医師支援委員会

共催：一般社団法人こどものみかた CHEER

こどもどこセミナー

乳幼児健診の登竜門

【内容】

将来小児診療に携わりたい！というマインドを持った医学生・初期臨床研修医向けに、乳幼児健診の極意を学びながら、子どもの診察を体系的に学ぼう！という企画です。乳幼児健診には子どもの診察の基本が詰め込まれています。子どもの正常な発育・発達をきちんと理解していくことを目指します。本セミナーはCHEERの協力のもと行われます。

コーディネーター：上垣 怜央 (こどもどこ代表 帝京大学)
酒井 伶奈 (こどもどこ副代表 東邦大学)
石木 舞 (こどもどこ副代表 福岡大学)
スタッフ： 斎藤 優衣 (福島県立医科大学)
張田 佳代 (横浜市立大学医学部)
宗 智勲 (名古屋大学)

参加者：25名

事前参加申し込みが必要です。申し込みは年次集会ウェブサイトより行います。

「CHEER (Child Health Examination and Empowerment of child Rearing)」

乳幼児健診のポイントをレクチャーとハンズオンやシミュレーションを通して学ぶセミナーで、主にプライマリ・ケア医や若手小児科医向けに提供しています。

(ディレクター 一ノ瀬英史 いちのせファミリークリニック)

【セミナー 3】

9月1日(日) 9:00～11:30 福岡国際会議場2F A-2-3

見て、聞いて、考える 多職種スタッフ武谷塾

司会：藤好 貴子 (久留米大学医学部看護学科小児看護学)

講師：武谷 茂 (久留米大学医学部 非常勤講師)

小児科の外来には乳児期から思春期といった幅広い発達段階にある子どもと家族が、健康問題や健康診査など様々な医療・保健への支援を求めて訪れます。多くの子どもは自分の症状を的確に表現できないため、外来に訪れた子どもや家族の主訴や状態を観察し、適切な診察・治療につなげることが重要であり、トリアージ制度を導入している医療機関も増えてきました。

外来では、医師、看護師、薬剤師、保育士等の多職種が、子どもの健康を守るために医療に携わっています。子どもと家族が外来を受診した時、これらの外来スタッフが緊急性が高い状況や感染症に遭遇することは、院内の様々な場面で考えられます。様々な職種のスタッフが「何か変かな?」といった子どもの変化に気付き、適切な治療へとつなげることは小児科外来では大切なことです。今回のセミナーを通して、外来で実践できる印象診断を体験してみませんか。

- ・対象：医療や保育関連の多職種者、医・看護学生など、自由参加
- ・参加方法：事前申し込みは不要です
- ・内容：①スタッフのパフォーマンス(*顔つき診断の要領)
②印象診断の症例クイズ大会(*症例による演習)
③新人のための「顔つき診断」(*よくみる疾病群)

お願い：子どものプライバシー保護のため、写真撮影はご遠慮ください。



Special Interest Group [SIG]

● スペシャル・インタレスト・グループ (SIG) とは？

あるテーマについて関心を持つ人々が集い、意見・情報交換もしくは課題・目標抽出などを行うセッションです。今後の活動、ワークショップや共同研究のアイデアなど「新しい何か」が生まれる場としてご活用ください。事前参加申込は不要です。

【SIG1】

9月1日(日) 9:00～11:30 福岡サンパレスホテル2F B-2-2

離乳食を科学的に語ろう！

コーディネーター：岡田 清春 (おかだ小児科医院)

おかゆから始めない離乳食のすすめ

講師：岡田 清春 (おかだ小児科医院)

当院の離乳食教室の実践「何をどうやって食べる？」

講師：瀬尾 智子 (緑の森こどもクリニック)

授乳後期健診のアンケート調査から見た離乳食の問題点

講師：西村 龍夫 (にしむら小児科)

次回改定される「授乳・離乳の支援ガイド」(仮題)

講師：土田 晋也 (つちだ小児科)

沖縄県の乳幼児検診結果にみる貧血率の推移

講師：今西 康次 (じねんこどもクリニック)

【SIG2】

9月1日(日) 13:00～14:30 福岡サンパレスホテル2F B-2-2

主催：「外来小児科」編集委員会

Narrative reports ここだけの症例検討会

コーディネーター：富本 和彦 (とみもと小児科クリニック)

津留 智彦 (つるこどもクリニック)

村上 綾子 (あきつこどもクリニック)

昨年の年次集会でご好評をいただいた本企画を本年も開催いたします。

「外来小児科」編集委員会が厳選した症例を参加者全員で討議する本検討会は、経験豊富な先生方であっても100人中数名の経験しかない稀な症例でしたが、様々な先生方が熱心に討議され、とてもためになったとお声を頂きました。本年も熱い討議がなされるような症例を準備いたしますので、参加をお待ちしております。

共催：日本小児感染症学会 AMR 臨床リファレンスセンター

第2回小児 AMR 対策セミナー

ワークショップは要事前申込(講演は自由参加)

抗菌薬適正使用と地域で実践するために

講師：岡空 輝夫 (岡空小児科医院)
笠井 正志 (兵庫県立こども病院 感染症内科)
具 芳明 (AMR臨床リファレンスセンター)
崎山 弘 (崎山小児科)
荘司 貴代 (静岡県立こども病院 小児感染症科)
野村 さちい (つながる ひろがる 子どもの救急)
宮入 烈 (国立成育医療研究センター 感染症科) ほか

【スケジュール】

9:00-11:30 講演(自由参加)
13:00-15:30 ワークショップ(事前登録制。ただし、11:30-13:00はランチ休憩)

【概要】

薬剤耐性菌：Antimicrobial resistance：AMRの拡大は世界的な問題であり、抗菌薬適正使用は喫緊の課題である。本邦の抗菌薬処方9割を占める経口剤の適正化は、他診療科、薬剤師、市民、行政をまきこんだ地域での実践、地域展開が必要だ。こども達に抗菌薬を残すために、小児科医と感染症専門医はAMR啓発のリーダーシップを期待される。本プログラムは講義、AMR対策を推進している機関の実践紹介、グループ討議を行い、参加者が地域で抗菌薬適正使用の推進を実践できることをゴールとする。

本セミナーへの参加は日本外来小児科学会年次集会への参加登録が必要です。
本セミナーは小児抗菌薬適正使用加算の施設要件になります。

13. 倫理講習会

8月31日(土) 16:00～17:00
福岡サンパレスホテル 2F B-2-1

主催：倫理委員会

診療および母子保健事業(健診・予防接種等)のデータを活用した研究における倫理的配慮

講師：三品 浩基(神戸市こども家庭局こども育成部)

倫理講習会では二つの受講証を得ることが出来ます。

- 1、専門医共通講習受講証(申請予定)
小児科専門医の申請や更新の時に使える単位です。
- 2、日本外来小児科学会倫理委員会講習受講証
ご自身がリサーチを行うときに、学会の倫理委員会に審査を申請したり、研究基金を申請するときに使える、学会内部の受講証です。
詳しくは、学会ホームページの倫理委員会「倫理審査を希望する方へ」をご覧ください。

14. ハンズオンセミナー・スポンサードセミナー

※ハンズオンセミナー1～4はすべて事前申込が必要となっております。詳細は年次集会ウェブサイト (<http://www.sagpj29.com>) にてご確認ください。

【ハンズオンセミナー 1】

9月1日(日) 13:00～15:00 福岡国際会議場2F A-2-3

協賛：マルホ株式会社

スキンケア 重要性や最近の話題(仮題)

座長：森田 潤 (こどもクリニックもりた)
講師：大矢 幸弘 (国立成育医療研究センター アレルギーセンター)
坂井 麦子 (アンデルセン薬局 小児アレルギーエドゥケーター)

【ハンズオンセミナー 2】

9月1日(日) 13:00～15:00 福岡国際会議場4F A-4-9

親子に寄り添った吸入支援をめざして、私たちにできること

座長：上荷 裕広 (すずらん調剤薬局)
講師：三浦 哲也 (三浦薬局)

小児気管支喘息は気道の慢性炎症を本態としており、基本治療は吸入ステロイドによる長期管理であるため、吸入療法は喘息治療において重要な役割を果たしています。そのため吸入手技の成否が効果を左右すると言っても過言ではありません。また適切な吸入指導を行っていても、時間の経過とともに吸入手技の脱落をきたすこともあるため、継続的な指導と支援が必要となります。

そこで今回のセミナーでは小児アレルギーエドゥケーター薬剤師が中心となり、正しい吸入手技の指導方法だけでなく、間違った吸入手技に対してどのようにアプローチして指導すればよいのか、また吸入療法の実行度が低い場合どのようにアセスメントして対応すればよいのかを学んでいただきます。

よりよい吸入療法に取り組めるように、親と子への支援を一緒に体験しましょう！

【ハンズオンセミナー 3】

9月1日(日) 13:00～15:00 福岡国際会議場5F A-5-2

外傷と熱傷の正しい治療 ～なついで式湿潤療法®

コーディネーター：八木 和郎 (小児科八木医院)
土田 晋也 (つちだ小児科)

スーパーバイザー：岡田 清春 (おかだ小児科医院)
福田 弥一郎 (福田診療所)
禹 満 (禹小児クリニック)
浅井 俊行 (キッズクリニックありす)
宮原 篤 (かるがもクリニック)
柿澤 美保 (光ヶ丘スペルマン病院)
斧田 順子 (福田診療所)

【ハンズオンセミナー 4】

9月1日(日) 13:00～15:00 福岡サンパレスホテル2F B-2-1

共催：日本タッチケア協会

タッチケア ―地域で支える子育て・親育て・家族支援―

コーディネーター：井村 真澄 (日本赤十字看護大学母性看護学 大学院国際保健助産学)

【スポンサードセミナー】

9月1日(日) 13:00～14:30 福岡国際会議場4F A-4-11

協賛：アレクシオンファーマ合同会社

**希少疾患の早期診断に繋がる小児医科歯科連携の大切さ
～低ホスファターゼ症(HPP)から考える連携の在り方～**

座長：伊達木 澄人(長崎大学医歯薬学総合研究科 小児科学 准教授)

演者①：代表的な骨系統疾患の診断と治療 ～医科歯科連携の実践例を通じて～

北岡 太一(大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

**演者②：歯科の立場から小児科と連携すべき症例
～早期診断に繋がったHPP患児を経験して～**

佐藤 秀夫(鹿児島大学病院 発達系歯科センター 小児歯科)

15. 前夜イベント・懇親会

【前夜イベント】

8月30日(金) 19:00～21:00 gate's 7F Gate's7

事前申込期間

2019年4月15日(月)～7月12日(金)

熱い学会の前日には、学会参加者だけのクローズドコンサートを企画いたしました。医師でお母さんで、歌手でもあるアン・サリーさんの歌声で、きっと優しい気持ちになれることでしょう。

コンサートのあとは、同じ会場でウエルカムビアパーティーの予定です。次の日からの活発なディスカッションへ向けて、スイッチを入れましょう。

参加費：3,000円 **予約制** ※当日のキャンセルは出来ません。
パーティー代込み(コンサートのみの参加でも料金是一緒です)

定員：100名

開場：18:30

開演：19:00

場所：Gate's7

<http://www.gates7.com/index.php>

〒810-0801

福岡市博多区中洲3-7-24 gate's 7F

TEL 092-283-0577



アン・サリー

2001年「Voyage」でアルバムデビュー。2003年「Day Dream」「MoonDance」のロングセラー以後、待望の最新CD「Bon Temps」を含む、多数アルバムを発表。また数々のCMや映画の主題歌を歌唱し、日本全国、アジア地域で演奏活動を広げるシンガー & ドクター。暮らしの中で緩やかに芽吹いた日々の想いは、ほころぶ花のように芳醇な歌声と、花蜜の抽出された名曲群へと昇華され、幅広い層に届けられている。

【懇親会】

8月31日(土) 19:00～21:00 ホテルオークラ福岡4F 平安

事前申込期間

2019年4月15日(月)～7月12日(金)

懇親会は、久しぶりに会う仲間達と、楽しく話して、充実の時間を過ごしてください。
出来る限り、フリートークの時間を設けます。博多の幸と、出会いをお楽しみ下さい。
アトラクションには、リピート山中氏をお呼びしました。代表曲では、『ヨーデル食べ放題』『それぞれの味・サッポロ黒ラベルのうた』が有名ですが、医療を題材とした歌も沢山作っていらっしゃいます。

懇親会参加費：5,000円

※懇親会会場入口にて入出場時の参加証の確認を行いません。

※懇親会の当日申込は福岡国際会議場1F「総合受付」にて8月31日(土) 9:00～16:00にて行いません。

なお、予定人員に達しました場合は受付時間内でも終了させていただきます。



リピート山中

1996年、桂雀三郎 with まんぷくブラザーズとしてメジャーデビュー。元祖フォークシンガー高石ともや氏に見出され、ソロシンガーとしての活動も本格化。2000年、自作の『ヨーデル食べ放題』が大ヒットし、2001年長嶋ジャイアンツ公式応援ソングも担当する。TVレギュラー・ラジオパーソナリティー（担当番組がギャラクシー大賞受賞）を経て、現在さまざまなテーマで歌を作り唄うメッセンジャーとして全国を唄い歩く。ギターを担いで北アルプスや富士山に登り行う山小屋コンサートや山頂ライブ。医師に同行しての僻地での往診コンサートなどをライフワークとする。また地球や心の環境、家族をテーマにした楽曲で、小中学校などでの『唄う講演会』の依頼を受けることも多い。出かけて出会って感じて唄う、体験派シンガーソングライター。

2015年から『ヨーデル食べ放題』がJR大阪環状線の鶴橋駅発車メロディーとして流れる。

<代表曲>

『ヨーデル食べ放題』	『加藤文太郎の歌』
『白い花が好き』	『夏山賛歌』
『播隆の風』	『涸沢のうた』
『飛騨山脈賛歌』	『往診ハラショー』
『ロコモかしかもサビないで』	『頑張れ！スイゾウちゃん』
『わが家のハルウララ』	『ありがとうのうた』
『それぞれの味・サッポロ黒ラベルのうた』	
『行こうよ！おいでよ！須磨水族園』（神戸市須磨海浜水族園テーマソング）	

16. 閉会式

9月1日(日) 15:30～16:00
福岡国際会議場3F A-3-1

もう少し話したかった。聞きたいことがあった。素晴らしいディスカッションだったからなごりおいしい。そんな思いを残しながら、でも、是非、間に合うように閉会式の会場においでください。

閉会式を始めてくれるのは、デフボディパーカッションクラブの子ども達です。久留米聴覚特別支援学校で、仲間達と一緒に合奏することを練習して来ました。目や振動で友達の息づかいを感じながらの音楽を感じて下さい。

次期会頭挨拶、今年と来年の実行委員長による学会旗のバトンタッチの目撃者になってください。



<デフボディパーカッションクラブ(久留米聴覚特別支援学校)>

～体が全部 楽器です！～

「ボディパーカッション」とは、体を叩いてリズムを刻み、その重なりで音楽を奏でることをいいます。楽器が無くて、音符が読めなくても、歌が上手に歌えなくても、誰もが音を楽しむことが出来る音楽です。私たちデフボディパーカッションクラブは、「音楽は楽しいよ！」と、たくさんの人に伝えるために、自分の体を楽器にして、久留米聴覚特別支援学級に集まって練習を行っています。そして、音楽の響きを感じながら、心と体を自ら育てています。

久留米聴覚特別支援学校でのボディパーカッションが始まって、20年が経ちました。開放感たっぷりのリズムが、子ども達の心をとりにしています。

17. 託児室

申込期間

2019年4月15日(月)～8月9日(金)

会期中、託児室を開設いたします。

ご利用をご希望の方は下記をお読みのうえ、必ず事前にお申込みください。

■ご利用対象

対象：生後6か月～小学校3年生まで

■料金

1名1日あたり2,000円(税込)(両日とも)

※託児料金は当日現金にてお支払いください。

■申込方法

第29回日本外来小児科学会年次集会ウェブサイト(<http://www.sagpj29.com>)より

利用規約等をご確認のうえ、「託児室申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAXにて下記の申込先までお送りください。

■申し込み・お問い合わせ先

第29回日本外来小児科学会年次集会 運営事務局

(株)エス・ティー・ワールド コンベンション事業部内

〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-30 天神西通りビジネスセンター 6階

FAX：092-738-3791 E-mail：sagpj29@stworld.jp

営業時間：平日10：00～18：30(土日祝休)

18. 宿泊のご案内

申込期間

2019年4月15日(月)～7月12日(金)

■お申込み・お支払い・予約の変更・取り消しについて

- ◎ 事前参加登録と同様、年次集会ウェブサイト (<http://www.sagpj29.com>) よりお申し込みください。
- ◎ 予約確定後、予約確認メールが届きます。予約内容を確認の上、お支払い期日までにお支払ください。
- ◎ お問合せにつきましては、行き違いを避けるため、必ずEmailなどの書面にてお願いいたします。
- ◎ 御予約の変更・取り消しは年次集会ウェブサイトから操作いただけます。所定の変更・取消料金を差し引いた金額を、後日返金させていただきます。
- ◎ お支払期日：2019年7月12日(金)までにお支払ください。

■宿泊ホテルについて

- ◎ 宿泊設定日：2019年8月30日(金)・8月31日(土)の2日間
- ◎ 会期中周辺ホテルの混雑が予想されます。早めのお申込みをお勧めいたします。
- ◎ 先着順に受け付けいたします。満室の場合、申し訳ありませんが、空室のある他の施設をご利用ください。

■変更・取消料金

詳細は年次集会ウェブサイトに掲載しておりますので、ご確認ください。

■お支払いについて

お支払方法は、「オンラインクレジット決済」、「銀行振込」のいずれかにてお願いいたします。ご希望のお支払い方法をお申し込み時にご選択ください。なお、手数料はお申込者にてご負担ください。

■お申込み及びお問合せ

第29回日本外来小児科学会年次集会運営事務局
(株)エス・ティー・ワールド コンベンション事業部内
〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-30 天神西通りビジネスセンター 6F
E-mail : sagpj29@stworld.jp
営業時間：平日 10：00～18：30(土日祝休)

19. 日本外来小児科学会への入会手続き

日本外来小児科学会への入会のご案内

※年次集会会場での入会手続きはできません。

入会を希望される方は、入会申込書に所定の事項を記入した上で、学会事務局へお申込みください。役員会の承認を経て、入会決定を通知します。承認後、入会金と年会費を納入してください。以上の手続き全てが終了した時点で会員となります。

■入会手続き手順

1. 学会公式 web から入会申込書 (<http://www.gairai-shounika.jp/>) をダウンロードしてください。入会申込書は、当ガイドブックや学会誌などにも添付してありますので、そのコピーでも結構です。
2. 「入会申込書」の各項目に記入し、学会事務局にお送りください。
3. 学会役員会(年4回開催)の入会審査で承認されますと、学会事務局より2週間以内に承認通知と入会金・年会費請求書をお送りいたします。
4. 入会金3,000円と当該年度の年会費を指定口座に納入してください。年会費は、診療所・病院開設者は15,000円、それ以外の方は10,000円です。
5. 以上で入会手続き終了です。

<会員の推薦>

推薦文と推薦者署名は必須記載事項ではありません。

<入会金に関して>

入会に関しての諸経費としてお願いします。また、変更にも手数料がかかりますので(個々の会員には請求していませんが)、大学などより出向中の方は、出来れば固定した住所をご登録ください。

<役員会承認に関して>

入会には、役員会での承認が必要です。役員会は基本的には年4回(2月・5月・8月・11月頃)開催されています。

<年会費>

当学会の会計年度は、7月1日から6月30日までです。5月中旬に開催される役員会で入会が承認された場合は、入会年度を御自身でお決めの上、ご入金ください。6月30日までに手続きが完了すれば、当該年度の会誌をお送りします。次会計年度からの会費納入の場合は、新年度の発行号からの送付となります。

■日本外来小児科学会・事務局 (入会事務取扱先)

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号
新宿ラムダックスビル 株式会社 春恒社 学会事業部内
Tel: 03-5291-6231 Fax: 03-5291-2176
E-mail: gairai-shounika@shunkosha.com

入会申込書

年 月 日

一般社団法人日本外来小児科学会 会長 殿

貴学会の目的に賛同し入会を申し込みます。

ふりがな氏名： (自署) 1.男 2.女 年 月 日生

勤務先： 診療所・病院開設者または管理者 名称 上記以外 【会員種別にもチェック必ず記入して下さい】

所在地 〒 都道府県 区郡

TEL : FAX : E-mail :

自宅住所 〒 都道府県 区郡

TEL : FAX :

※勤務先、自宅のどちらかに郵便送付先として印を入れて下さい。

職種： 1.小児科医 専門医 2.他科の医師 (専門：) 3.その他 (具体的に) ※小児科学会専門医の方は印をつけて下さい。

所属学会 (医会)： 日本小児科学会 日本小児保健協会 日本小児科医会 印をつける その他 (具体的に)

自薦文 (入会して何をしたいかをお書き下さい)：

興味のある分野に印をつけてください 診療 教育 研究 社会活動 その他 ()

※以下 (推薦文、推薦人) は、必須ではありません

推薦文：

ここに 氏を日本外来小児科学会会員に推薦致します。

年 月 日 日本外来小児科学会会員 氏名 (自署)



200g



100g



ジェネリック医薬品

血行促進・皮膚保湿剤

薬価基準収載

ヘパリン類似物質 外用泡状スプレー 0.3%「PP」

Heparinoid Foam Spray 0.3%「PP」

ヘパリン類似物質スプレー

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の
注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

株式会社 ポーラファルマ
東京都品川区西五反田 8-9-5

資料請求・お問い合わせ先: 学術

TEL: 03-5436-2725

FAX: 03-5496-9718

●判定時間**5分**で迅速に結果が得られます。

●Flu、RSV、アデノで試料相互使用が可能です。

製造販売承認番号 22700AMX00678000

インフルエンザウイルスキット

アルソニック® Flu



製造販売承認番号 22700AMX00679000

RSウイルスキット

アルソニック® RSV



製造販売承認番号 22700AMX00673000

アデノウイルスキット

アルソニック® アデノ



- 貯蔵方法：2～30℃
- 有効期間：24箇月（使用期限は外装等に記載）
- 包装単位：10回

使用上又は取扱い上の注意等は添付文書をご参照下さい。



資料請求先：アルフレッサ ファーマ株式会社 〒540-8575 大阪市中央区石町二丁目2番9号 TEL06-6941-0308

製造販売元 **アルフレッサファーマ株式会社**
大阪市中央区石町二丁目2番9号
TEL 06-6941-0308

多くの病院・医院の待合室から “絵本の輪” がひろがっています



小冊子「絵本のある子育て」No.37

絵本を読んであげることは、
子どもだけでなく、
大人にも癒しとなり、
親子の結びつきを強くして
くれるなどの、たくさんの
“よいこと”があります！

小冊子
「**絵本のある子育て**」は、
私どもの長年の経験を集約した
“絵本のある子育て”のご案内です。

小冊子「**絵本のある子育て**」を、待合室に設置したり、
子育て中の方に手渡したりしていただけませんか？

- 専用のスタンドもあります。(送料とも無料でお送りいたします。)
- 待合室へ絵本の寄贈システムがあります。
- お子さんの成長にあった絵本をお届けする、
絵本の定期便「童話館ぶっくらぶ」についての
詳しいご案内も掲載しています。

ご来院の方々のお役にたつことができれば、さいわいです。



『こぶたくん』
(童話館出版)

こどもの本の童話館グループ

こどもの本の店 童話館・「童話館ぶっくらぶ」・童話館出版・祈りの丘絵本美術館

1981年設立以来、「童話館ぶっくらぶ」を核として、絵本・こどもの本について、より深く専門的に取り組んでいます。

〒850-0055 長崎市中町5-21
TEL 095(828)0620 FAX 095(828)2373 URL <http://www.douwakan.co.jp>

保険適用

体外診断用医薬品

承認番号 22400AMX01479000

狙い撃ち



「モノクローナル抗体技術(L7/L12)」により
肺炎マイコプラズマを早期検出

マイコプラズマ抗原キット リボテスト[®] マイコプラズマ



使用目的、操作上の注意、使用上又は取扱い上の注意については添付文書をご参照ください。

製造販売元

旭化成ファーマ株式会社

診断薬製品部

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号

URL : <http://www.asahi-kasei.co.jp/shindan/>

販売元



富士レビオ株式会社

【問い合わせ先】
富士レビオ株式会社 お客様コールセンター ☎0120-292-832

販売元

極東製薬工業株式会社 営業学術部

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町7-8

TEL : 03-5645-5664 FAX : 03-5645-5703

URL : <http://www.kyokutoseiyaku.co.jp/>

MP201808-2

海外旅行、イベント（学会・大会）の企画など すべて『コンベンション事業部』にお任せ!

学会 大会

双方向なメディアとしてコンベンションは人々の新しい出会い、集いを生み出すヒューマンコミュニケーション空間として見直されています。コンベンションの構想段階からアフターフォローまで一貫して主催者をサポートいたします。



企業系 MICE

企業は、ユーザーや代理店に対する販売促進・営業強化、社内モチベーションアップの為に、様々なイベントを必要としています。イベントの目的を明確にし、最適な企画・運営案をご提案いたします。





株式会社エス・ティー・ワールド コンベンション事業部

TEL. 092-288-7577

E-mail. convention@stworld.jp

URL. <https://convention.stworld.jp/hp/>

〒810-0001
福岡県福岡市中央区天神 2-8-30
天神西通りビジネスセンター 6F
営業時間 10:00 ~ 18:30
<定休日: 土・日・祝日>
担当: 田川・納富・河内



Travel#Emotion!

驚きを。 旅に感動と



モルディブ
21年連続
送客実績
ナンバーワン!
※スリランカ航空調べ



ダイビングは
年間1万人
以上の実績!



世界29ヶ国
37都市の
現地支店が
24時間サポート
をお約束!





株式会社エス・ティー・ワールド

TEL: 03-6415-8614

観光庁長官登録旅行業第1022号

一般社団法人
日本旅行業協会

STW

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-6-17 渋谷シネタワー14階
営業時間: 月~日曜日 10:30~19:30 (第1・第3木曜日定休)

旅行業公正取引
協議会 会員

検索

<http://stworld.jp/>

経皮吸収型・気管支拡張剤

薬価基準収載

処方箋医薬品^{注)}

ホクナリンテープ[®] 0.5mg 1mg 2mg

〈ツロブテロール貼付剤〉

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

- 効能・効果, 用法・用量, 禁忌を含む使用上の注意等は
製品添付文書をご参照ください。



製造販売元 **マイランEPD合同会社**

東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

〔資料請求先〕くすり相談室 フリーダイヤル 0120-938-837

 **Mylan**

Seeing
is believing

2017年3月作成



**Do more, feel better,
live longer.**

We are a science-led global healthcare company
with a special purpose: to help people
do more, feel better, live longer.

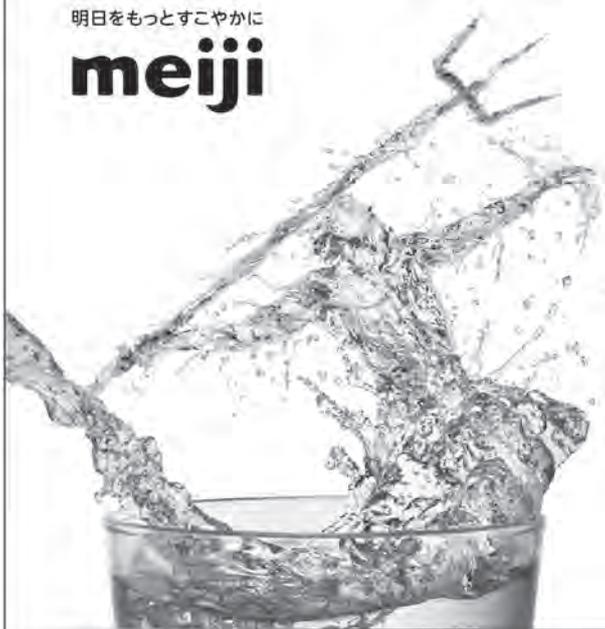
<http://jp.gsk.com>



GlaxoSmithKline K.K.

明日をもっとすこやかに

meiji



経口用カルバペネム系抗生物質製剤 薬価基準収載
処方箋医薬品 特
デヒペネム ピボキシル細粒

オラペネム[®]小児用細粒10%

ORAPENEM[®] FINE GRANULES 10% FOR PEDIATRIC

注) 注意 — 医師等の処方箋により使用すること

略号 TBPM-PI

※「効能・効果」、「用法・用量」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等、詳細は製品添付文書をご参照ください。

製造販売元

Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2 - 4 - 16

<http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>

〈資料請求先〉

Meiji Seika ファルマ株式会社 くすり相談室

電話(0120)093-396、(03)3273-3539

作成:2015.2

まだないくすりを

創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。

 **astellas**

www.astellas.com/jp/

アステラス製薬株式会社



ヒト成長ホルモン(遺伝子組換え)製剤

ノルディトロピン[®]
フレックスプロ[®] 注

薬価基準収載

5mg

10mg

15mg

Norditropin[®] FlexPro[®]

一般名:ソマトロピン(遺伝子組換え)

処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等につきましては、添付文書をご参照下さい。



製造販売元 (資料請求先)

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
www.novonordisk.co.jp

J/PNT/0916/0152
2016年9月作成

Smart Gene[®]

微生物/遺伝子検査(PCR)が身近に

スマートジーン[®] Myco

体外診断用医薬品
承認番号 23000EZ00006000

機器の特長

- ◇迅速判定が可能
- ◇1ステップ自動判定。試薬ロスができません
- ◇核酸分子の配列情報を解析できます



試薬の特長

- ◇マイコプラズマ核酸検出が試料滴下からわずか約30~50分の迅速判定
- ◇煩雑な前処理不要で、院内検査が可能
- ◇マイコプラズマ 23S rRNA の変異株も含め全てが検出可能

全自動遺伝子解析装置 Smart Gene

特定保守管理医療機器/設置管理医療機器
届出番号 41B2X10001000004

製造販売元

 株式会社 ミズホメディ
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4
<https://www.mizuho-m.co.jp>

学術担当窓口 お客様専用フリーダイヤル

 0120-12-4636



測定中



増感前判定A+



増感中



オレンジのバーで測定の進行状況を示し、判定結果は点滅と音でお知らせ。

複数台設置に
適した
タテ型デザイン

一目でわかる
画面表示

バーコード
リーダー搭載

さまざまな感染症検査を1台で。

インフルエンザや肺炎マイコプラズマなど複数の風邪症候群の抗原に対応できる検査システム。独自の高感度検出技術により、抗原量の少ない発症初期でも迅速・正確な判定を可能にしました。セットするだけの簡単操作で自動判定を実行。感染症検査の効率化、早期発見による患者負荷の軽減を IMMUNO AG2 がサポートします。

発症早期の少ない抗原量での検出精度が向上[※]

※高感度検出技術を採用した試薬

高感度検出技術
特異度向上技術
を採用



マイコプラズマ抗原キット ※



インフルエンザウイルスキット ※



RSウイルスキット/
アデノウイルスキット ※



アデノウイルスキット ※
【検体】 結膜滲出液を含む涙液、
角結膜ぬぐい液

最短5分で検出。素早い処置をサポート。



アデノウイルスキット
【検体】 咽頭ぬぐい液、角結膜ぬぐい液



A群ベータ溶血連鎖球菌抗原キット

●マイコプラズマ抗原キット(販売名:富士ドライケム IMMUNO AG カートリッジ Myco 承認番号:22800EZ00054000 製造販売業者:株式会社ミスホメディー) ●インフルエンザウイルスキット(販売名:富士ドライケム IMMUNO AGカートリッジ FluAB 承認番号:22300AMX00569000 製造販売業者:株式会社ミスホメディー) ●RSウイルスキット/アデノウイルスキット(販売名:富士ドライケム IMMUNO AG カートリッジ RSV/Adeno 承認番号:22700EZ00008000 製造販売業者:株式会社ミスホメディー) ●アデノウイルスキット(販売名:富士ドライケム IMMUNO AG カートリッジ Adeno OPH 承認番号:22900EZ00027000 製造販売業者:株式会社ミスホメディー) ●アデノウイルスキット(販売名:富士ドライケム IMMUNO AGカートリッジ Adeno 承認番号:22500AMX00899000 製造販売業者:株式会社ミスホメディー) ●A群ベータ溶血連鎖球菌抗原キット(販売名:富士ドライケム IMMUNO AG カートリッジ StrepA 承認番号:22500AMX00009000 製造販売業者:株式会社ミスホメディー)



デンシトメトリー分析装置 **NEW** DRI-CHEM IMMUNO AG2

特定保守管理医療機器 販売名:富士ドライケム IMMUNO AG2 届出番号:14B2X10002000123 製造販売業者:富士フイルム株式会社